
熊本県立美術館年報 ■平成24年度

は じ め に

熊本県立美術館の運営に対し、日頃から御支援、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

平成24年度の展覧会、美術品の収集、教育普及活動などの概要をまとめましたので、御高覧のうえ、御活用いただければ幸いに存じます。

特別展としては、本館2階第1室の改修を記念し、4月28日から7月1日まで、「細川家の歴史と美」を開催しました。最新の展示ケースとLED照明を完備した展示室で、修復なった《帝鑑図屏風》《細川幽斎所用腹巻》をはじめ、永青文庫の優品を公開しました。企画展としては、熊本ゆかりの現代絵画を中心にした「夏のコレクション展 現代絵画」、細川コレクションと当館のコレクションを順次紹介していく「名品コレクション展」を秋・冬・春の3回開催し、熊本の美術を楽しんでいただきました。

別棟の細川コレクション常設展示室では、細川護立収集の横山大観、菱田春草などの日本画の名品を紹介した「近代細川家と絵画」、永青文庫に伝わる狩野派の優品の数々を紹介した「細川家と狩野派の美」、華やかな武家の婚礼の様子を浮かび上がらせた「細川家の婚礼」、熊本藩第6代藩主細川重賢が設立した藩校時習館の歴史と役割を紹介した「藩校時習館物語」を開催し、それぞれに好評をいただきました。

また、TKUテレビ熊本との共催で「藤城清治影絵展」、熊本日日新聞社及びRKK熊本放送との共催で、熊本に大きな影響を与えた戦国武将加藤清正の実像を明らかにした「生誕450年記念展 加藤清正」、全国屈指のコレクションを誇る大原美術館の名品を紹介した「大原美術館展」を開催しました。

美術品収集においては、藤田嗣治《裁縫道具のある静物》、北川民次《地にうごめく》、恩地孝四郎《幼女浴後》他6点を購入し、《海老原喜之助 手のブロンズ》他2点の寄贈、1点の寄託を受けました。これにより当館収蔵品の一層の充実を図ることができました。

教育普及活動では、講座細川コレクション、ミュージアムセミナー、子ども美術館やスクールミュージアムなどを実施し、いずれも丁寧でわかりやすい内容に毎回好評をいただいています。

調査研究活動としては、平成20年度から継続している公益財団法人永青文庫からの預かり美術品調査を引き続き実施し、平成24年度は能面・能道具の調査に取り組みました。

熊本の芸術文化の振興及び観光振興の拠点となる、皆様に親しまれる魅力あふれる美術館にしていくため、これからも努力してまいりますので、一層の御理解、御支援をよろしくお願い申し上げます。

平成25年10月 吉日
熊本県立美術館長 横田 堅

目次

I 沿革	1
II 施設・設備	
■施設・設備の概要	4
III 事業の概要	
■平成24年度年間スケジュール	9
■展覧会記録	11
■浜田知明室	26
■装飾古墳室	28
■教育普及	29
IV 資料	
■観覧者状況及び事業報告	34
■収蔵品の概要	41
■購入図書目録	45
■委員会等名簿	46
■その他	48

I 沿 革

昭和43年 3月25日	県議会において文化資料調査費予算 50 万円可決
昭和43年 5月10日	「熊本県文化資料調査実施要領」制定
〃 44年 3月 3日	松本喜八氏兄弟から亡父（嘉平次氏）の遺志により美術館建設基金として1千万円寄附
〃 44年 7月 1日	「熊本県立美術館基金条例」公布 1億円の積立
〃	県議会において美術館建設調査費予算 100 万円可決
〃 44年 8月 6日	「熊本県立美術館建設促進協力会」発足
〃 45年 5月10日	「昭和 44 年度熊本県立美術館建設調査報告書」作成
〃 45年 6月 2日	「熊本県立美術館建設準備委員会設置要項」制定
〃 45年12月 8日	建設準備委員会より「美術館建設に関する答申書」の提出
〃 46年 3月20日	「熊本県立美術館建設委員会」発足
〃	「熊本県立美術館建設準備室」設置
〃 46年 5月17日	美術館建設委員会で美術館敷地を現在地に選定
〃 46年 9月20日	建設委員会より「美術館収集に関する意見書」の提出
〃 46年 9月30日	「装飾古墳調査報告書」作成
〃 47年 4月 1日	前川国男建築設計事務所に美術館設計委託
〃 47年 8月31日	熊本城二の丸史跡調査完了
〃 47年10月31日	美術館基本設計完了
〃 48年 3月31日	美術館実施設計完了
〃	美術館建設敷地の樹木調査完了
〃 48年 9月17日	装飾古墳レプリカ制作委託
〃 48年12月 8日	チブサン古墳石屋形模型製作委託
〃 49年 5月17日	美術館建設着工
〃 50年 5月24日	美術館定礎
〃 50年 7月 1日	「熊本県立美術館条例」公布
〃 50年 9月14日	美術館本体工事完了
〃 51年 1月31日	美術館外構工事完了
〃 51年 2月24日	美術館工事落成
〃 51年 3月 4日	美術館開館
〃 52年 1月24日	美術館別館（多目的室棟）着工
〃 52年 9月10日	別館（多目的室棟）竣工
〃 54年 6月28日	「熊本県美術品取得基金条例」公布
〃 60年 4月 1日	美術館条例（観覧料）の改正

昭和61年 3月25日	美術館屋外排水設備改修工事完了
〃 61年 6月 4日	第 35 回全国美術館会議総会開催
平成元年 4月 1日	美術館条例（観覧料等）の改正
〃 2年 4月 1日	美術館条例（観覧料等）の改正
〃 3年10月 1日	美術館分館着工
〃 4年 5月	野田壁画室工事完了
〃 4年10月 1日	美術館条例（使用料）の改正
〃 4年10月 9日	美術館分館工事完了
〃 4年10月20日	美術館分館開館
〃 4年12月19日	収蔵庫増設工事着工
〃 4年12月27日	やさしいまちづくり事業（エレベーター増設等）工事着工
〃 5年 4月 1日	美術館条例（観覧料）の改正
〃 5年10月15日	やさしいまちづくり事業（エレベーター増設等）工事完了
〃 6年 1月 3日	収蔵庫増設工事完了
〃 8年 3月	ハイビジョンミュージアムシステム設置
〃 8年 4月 1日	美術館条例（使用料）の改正
〃 8年11月	美術館本館空調設備、展示室改修工事着工
〃 9年 8月	美術館本館空調設備、展示室改修工事完了
〃 10年 4月 1日	美術館条例（観覧料）の改正
〃 11年 4月 1日	美術館条例（使用料）の改正
〃 11年 6月28日	障害者の社会的活動への参加の促進のための関係条例の整備 に関する条例公布（観覧料減免）
〃 11年 8月18日	美術館利用規則（休館日等）の改正
〃 11年10月23日	行幸啓
〃 12年 6月21日	「熊本県立美術館振興計画策定委員会」設置
〃 13年 3月	開館 25 周年記念「蒙古襲来絵詞展」開催
〃 13年 4月 1日	美術館条例（使用料）の改正
〃 14年 1月16日	「熊本県立美術館振興計画策定委員会」より館長に建議
〃 14年 1月31日	館長から美術館協議会に諮問 美術館振興計画として決定「ミュージアムプランくまもと 21 ～開館 25 年 100 の提案～」
〃 14年 2月	美術館本館屋上防水工事着工
〃 14年 3月	美術館本館屋上防水工事完了
〃 16年 2月 2日	美術館本館渡廊下、屋外喫茶フロアー通路スロープ化工事着工
〃 16年 3月17日	美術館本館渡廊下、屋外喫茶フロアー通路スロープ化工事完了
〃 17年12月 8日	非常用自家発電機更新工事着工

平成18年 3月17日	非常用自家発電機更新工事完了
" 18年 8月	開館 30 周年記念「エコール・ド・パリ展」開催
" 18年10月	開館 30 周年記念「熊本県立美術館名品展－精華－」開催
" 18年11月 1日	美術館利用規則（開館時間）の改正
平成18年11月10日	美術館本館 第 6 回 J I A 25 年賞大賞受賞
" 19年 1月 5日	美術館分館展示室 1、2、3クロス塗装工事着工
" 19年 1月 8日	美術館分館展示室 1、2、3クロス塗装工事完了
" 19年 1月30日	美術館本館 1、2階展覧会場クロス張り替え工事着工
" 19年 3月30日	美術館本館 1、2階展覧会場クロス張り替え工事完了
" 19年 6月25日	永青文庫展示室整備建築工事着工
" 19年10月 3日	美術館条例（使用料、観覧料等）の改正（H20.4.5 施行）
" 19年11月26日	美術館本館搬入用エレベーター改修工事着工
" 19年12月18日	美術館本館講堂床・電灯設備改修工事着工
" 20年 2月29日	永青文庫展示室整備建築工事完了
" 20年 3月14日	美術館本館講堂床・電灯設備改修工事完了
" 20年 3月17日	美術館本館搬入用エレベーター改修工事完了
" 20年 4月25日	細川コレクション永青文庫展示室開館
"	開館記念展「細川歴代の文と武と美」開催 （第 1 部、第 2 部：4.25 ～ 12.24）
" 21年 9月17日	美術館本館冷凍機オーバーホール工事着工
" 21年10月 9日	美術館条例（指定管理者制度の導入）の改正（H22.4.1 施行）
" 21年10月24日	美術館本館冷凍機オーバーホール工事完了
" 21年12月24日	美術館本館氷蓄熱槽ほか空調設備整備工事着工
" 21年12月30日	美術館本館氷蓄熱槽ほか空調設備整備工事完了
" 22年 4月 1日	美術館分館 指定管理者制度導入
" 22年 4月28日	美術館条例（観覧料の減免）の改正
" 22年12月22日	美術館条例（利用の許可の基準等）の改正（H23.4.1 施行）
" 23年 8月18日	美術館永青文庫展示室拡充改修工事着工
" 24年 2月28日	美術館トイレ改修工事着工
" 24年 3月 6日	美術館条例（協議会）の改正（H24.4.1 施行）
" 24年 3月28日	美術館トイレ改修工事完了
" 24年 3月30日	美術館永青文庫展示室拡充改修工事完了
" 24年10月31日	美術館本館非常灯用直流電源装置修繕工事着工
" 25年 1月15日	美術館本館非常灯用直流電源装置修繕工事完了
" 25年 3月15日	美術館条例施行規則（使用料の返還）の改正（H25.4.1 施行）

II 施設・設備

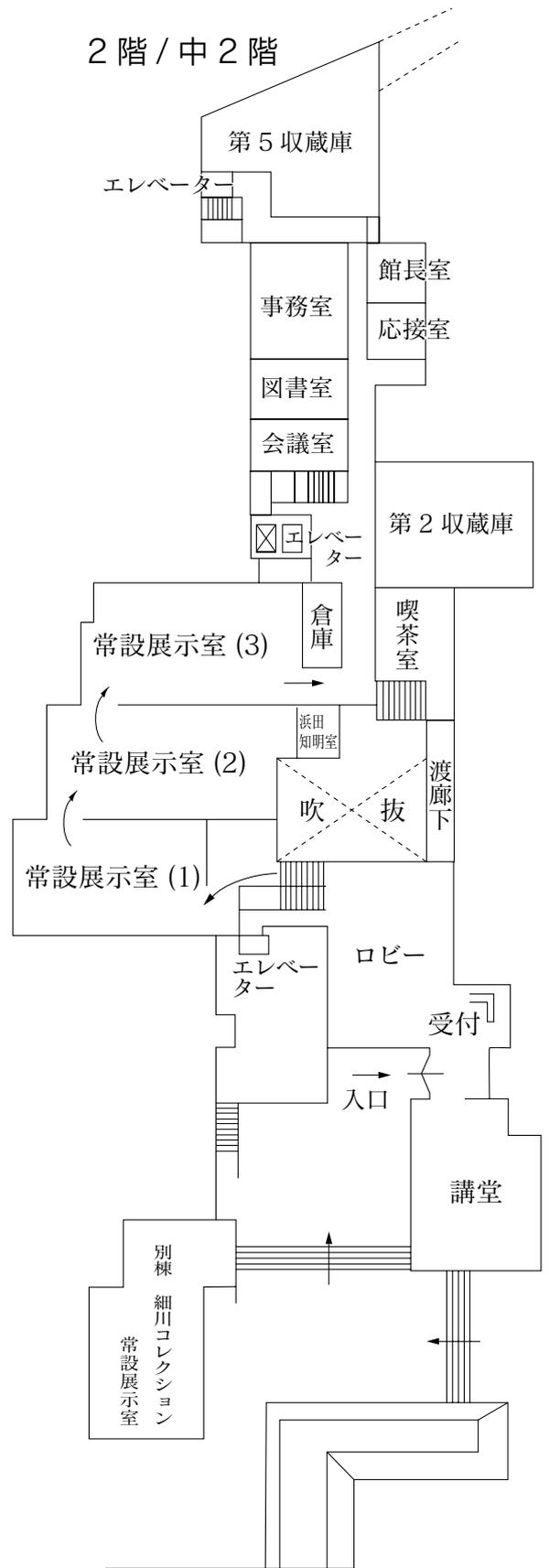
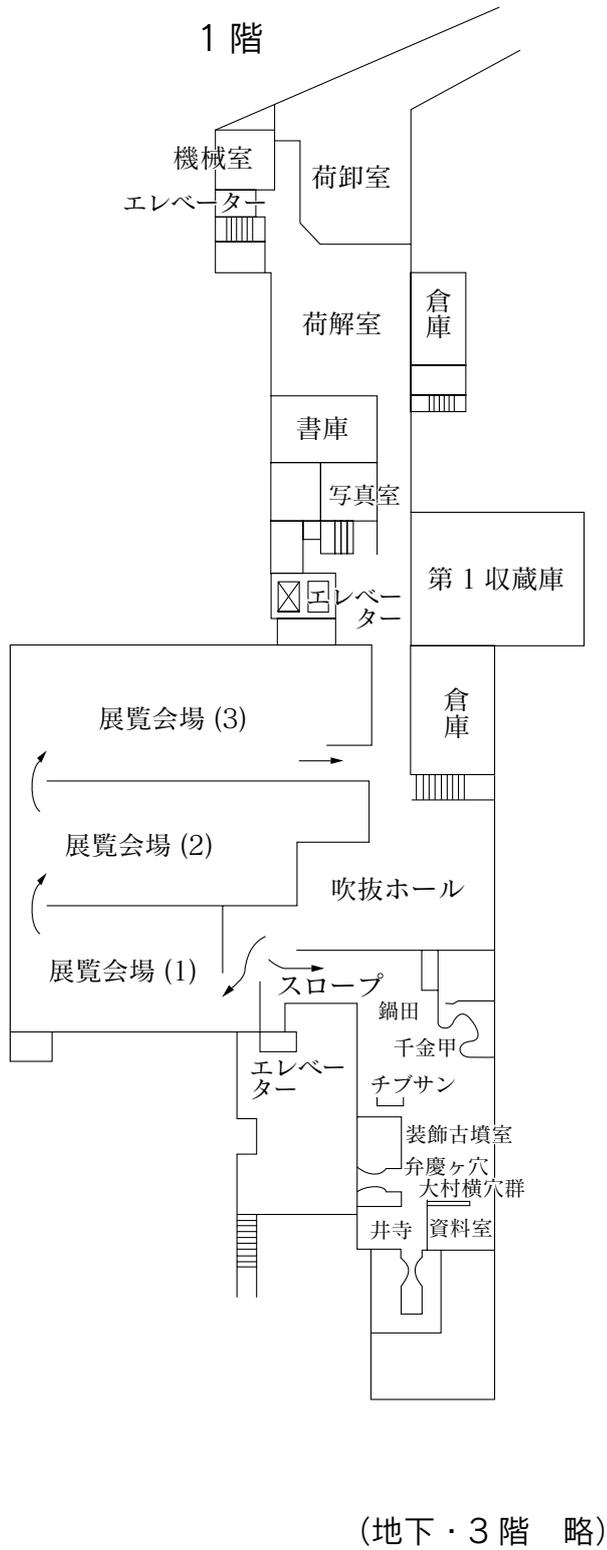
■施設・設備の概要

		本館	分館
所在地		熊本市中央区二の丸2番	熊本市中央区千葉城町2番18号
設計監理		(株)前川国男建築設計事務所	トレース&ラペニア・大和設計共同体
施 工 業 者	建築	(株)間組「酒井建設工業(株)」	浅沼組・坂口建設建設工事共同企業体
	電気	(株)九州電気工事「村上電気工事(株)」	太陽電気(株)
	空調	(株)大阪電気暖房「協電機工(株)」	上田商会・三祐建設建設工事共同企業体
	衛生	(株)日栄工業「(株)西山商会」	広域設備工業(株)
工期		昭和49年5月17日～昭和51年1月31日 「平成4年12月19日～平成6年1月3日」	平成3年10月1日～平成4年10月9日
面 積	敷地面積	14,200.00㎡	4,071.43㎡
	建築面積	3,446.40㎡	1,797.15㎡
	延床面積	7,942.85㎡	5,084.62㎡
構 造	鉄筋コンクリート造		鉄筋コンクリート造
	地下1階、地上3階		地下1階、地上4階、塔屋1階
仕 上	外壁	珧炉器質打込タイル	石張り（会津石）
	屋根	軽量コンクリート、保護モルタル	銅版張り
設 備	電気設備	契約電力516KW、自家発電装置	契約電力460KW
	空調設備	ターボ冷凍機、空調7系統	空冷式冷凍機、空調機7、空調機16
	衛生設備	上下水道使用、受水槽30㎡	上下水道使用、受水槽35㎡
	昇降設備	エレベーター3基（乗用1、荷物用2） ダムウェーター1基	エレベーター2基（乗用1、荷物用1） エスカレーター3基
	その他	屋内消火栓、炭酸ガス消火設備 ハロンガス消火設備	屋内消火栓、ハロンガス消火設備

部門別面積

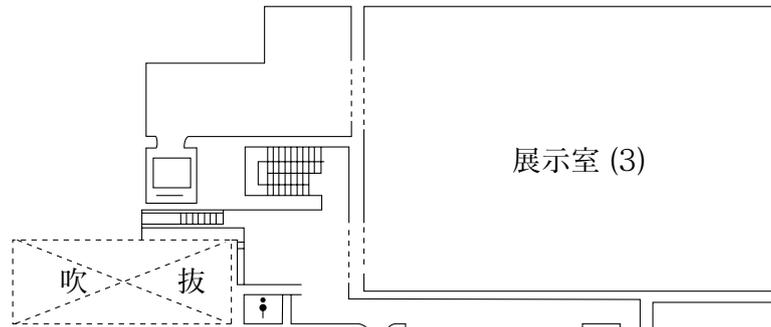
本 館				分 館			
部 門	室 名	室数	面積 (㎡)	部 門	室 名	室数	面積 (㎡)
展 示 室	装 飾 古 墳 室	1	339.37	展 示 室	展 示 室	3	933.47
	常 設 展 示 室	3	902.98		ギ ャ ラ リ ー	1	158.20
	展 覧 会 場	3	1072.64		彫 刻 広 場	1	56.00
	小 計		2314.99		小 計		1147.67
収 蔵 室	収 蔵 庫	5	1062.51	収 蔵 室	収 蔵 室	1	149.42
利 用 施 設	講 堂	1	176.56	利 用 施 設	フ ロ ン ト ホ ー ル	1	62.30
	ロ ビ ー	1	361.69		図 書 室	1	71.44
	吹 抜 ホ ー ル	1	361.04		A V 室	1	79.20
	喫 茶 室	1	88.47		喫 休 茶 憩 室	1	154.21
	そ の 他	1	43.41		ロ ッ カ ー 室	1	11.56
	小 計		1031.17		救 護 室 / 授 乳 室	1	9.24
別 棟 細 川 コ レ ク シ ョ ン 常 設 展 示 室	別 棟 細 川 コ レ ク シ ョ ン 常 設 展 示 室	1	346.80	売 店	1	20.00	
事 務 管 理	事 務 室 ・ 他		2434.51	小 計		407.95	
	機 械 室	2	752.87	事 務 管 理	事 務 室 ・ 他		177.99
	小 計		3187.38		機 械 室	4	338.80
			倉 庫 そ の 他			2862.79	
	計		7942.85	小 計		3379.58	
				計		5084.62	

美術館本館見取図

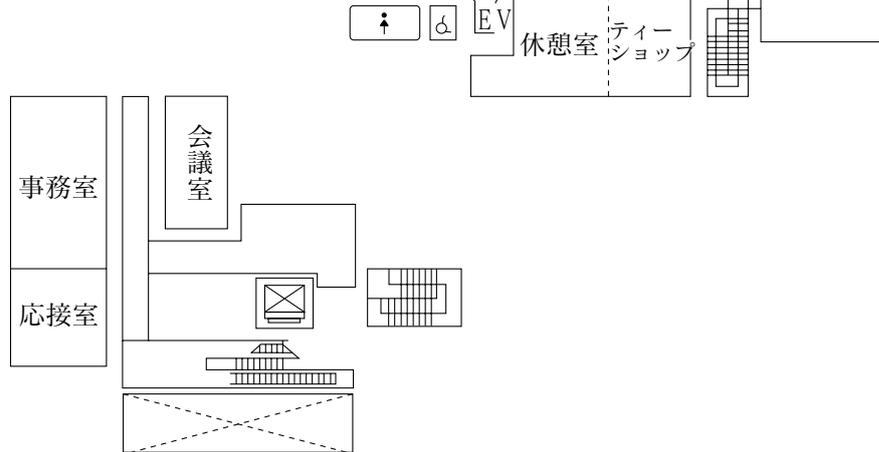


美術館分館見取図

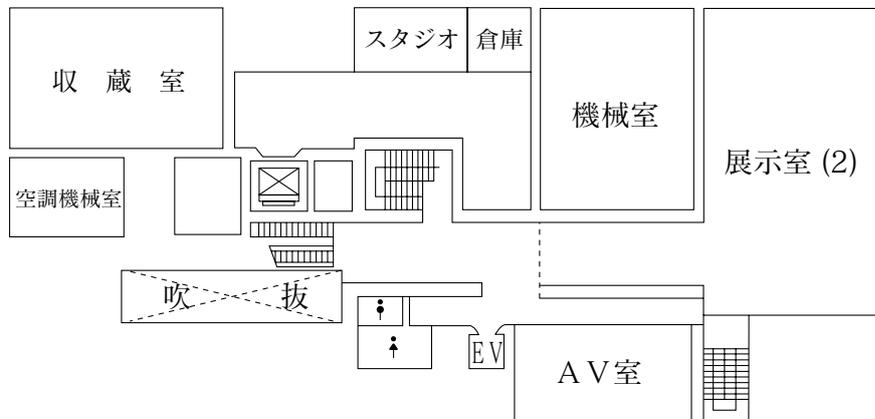
4階



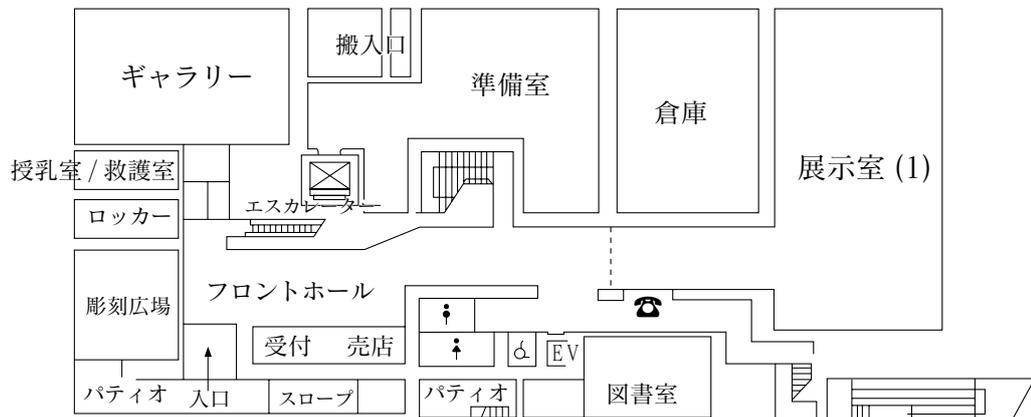
3階



2階



1階



事業の概要

平成24(2012)年度熊本県立美術館年間スケジュール

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																								
本館二階	本館2階細川コレクション常設展示室開室記念展 細川家の歴史と美 4/28~7/1			生誕450年記念 加藤清正展 (共催) 7/20~9/2		秋の名品コレクション展 9/11~10/28		冬の名品コレクション展 11/3~12/24		春の名品コレクション展 1/2~3/24																																										
本館一階	藤城清治の世界展 光と影のファンタジー 3/30~5/13			夏のコレクション展 現代絵画 7/20~9/2		秋の名品コレクション展 9/11~10/28		冬の名品コレクション展 11/3~12/24		春の名品コレクション展 1/2~3/24																																										
永青文庫展示室	近代細川家と絵画 4/14~7/1			細川家と狩野派の美 7/18~9/23		秋の名品コレクション展 9/11~10/28		冬の名品コレクション展 11/3~12/24		春の名品コレクション展 1/2~3/24																																										
分館四階	地球の上に生きる。コンテンポラリーアート2012			第75回 銀光展		第78回 東光会巡回展		第35回 熊本県水書道展		第33回 熊本県美術協会展(県美展)																																										
分館二階	第65回 示現会巡回熊本展			第24回 熊本県シルバート作品展		第34回 熊本県書道展		第48回 熊本県水彩画会展		第16回 遊美塾写																																										
分館一階	第52回 白鷗書道展			第28回 熊本県書道展		第78回 東光会巡回展		第48回 熊本県水彩画会展		第33回 熊本県美術協会展(県美展)																																										
会期	4/3~8	10~15	17~22	24~30	5/2~6	5/8~13	15~20	22~27	29~6/3	6/5~10	12~17	19~24	26~7/1	7/3~8	10~16	18~22	24~29	31~8/5	8/7~12	14~19	21~26	28~9/2	9/4~9	11~17	19~23	25~30	10/2~8	10~14	16~21	23~28	30~11/4	11/6~11	13~18	20~25	27~12/2	12/4~9	11~16	18~24	25~1/1	1/2~6	1/8~14	16~20	22~27	29~2/3	2/5~11	13~17	19~24	26~3/3	3/5~10	12~17	19~24	26~31

■ 展覧会記録

本館2階細川コレクション常設展示室開室記念展 細川家の歴史と美

会 期 平成24年4月28日(土)～7月1日(日)
開催日数 57日間
会 場 熊本県立美術館本館 2階展示室 第1室および第2室
主 催 熊本県立美術館
観 覧 料 一 般 260円(190円)
大学生 160円(120円)
高校生以下無料
()内は団体20名以上の料金
観覧者数 5,653人
担 当 者 有木 芳隆



趣旨とその成果

当館では、平成20年4月に「細川コレクション 永青文庫展示室」をオープンし、公益財団法人永青文庫の美術工芸品や古文書を常設展示してきた。本展示室は開館から4年間を経て、すでに14万人近くの来館者に観覧いただくことができた。

より多くの永青文庫所蔵品を鑑賞したいという県民各層からのご要望に応じて、平成23年度に本館2階展示室の第1室の展示ケースや照明設備を最新式にリニューアルし、細川コレクション展示室としてオープンすることになった。

新展示室のオープンを記念して、今回はこの展示室だけでなく第2室も併用して「細川家の歴史と美展」を開催することとした。本展は、永青文庫が所蔵する美術工芸品と古文書を中心にして、中世以来の大名である細川家の歴史を紹介するとともに、貴重な美術品の数々をご鑑賞いただくものである。

今回の展覧会は、部門別に構成した。【細川家の武器と武具】コーナーでは、細川家の甲冑や、細川三斎所用《脇差「彫貫盛光」》(出水神社蔵)などの細川家ゆかりの名刀、陣太鼓などの武器武具を展示。【細川家の大名調度と衣裳】コーナーでは、細川家の藩主夫人が用いた蒔絵の調度類や華やかな装束を展示した。【領内名勝図巻と御用絵師】コーナーでは、有名な《領内名勝図巻》を20冊近くわたって公開し、細川家の御用絵師であった「矢野派」の絵画を展示。【古文書が語る細川家の歴史】コーナーでは、細川家の始祖・細川頼有ゆかりの中世文書、近世・細川家の初代・藤孝(幽斎)、二代・忠興(三斎)に宛てた織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の貴重な文書等を展示した。

また、当館では、平成20年度から「永青文庫常設展示振興基金」の補助を得て、永青文庫美術品の修復事業を進めてきました。これまでに修復を完了した甲冑や屏風絵などを、【甦った名品】コーナーで一堂に公開することができた。

本展は、永青文庫の優れた古美術品や、貴重な古文書をまとめて鑑賞できる機会となり、新展示室のオープンにふさわしいものとなった。

夏のコレクション展 現代絵画

会 期 平成24年7月20日(金)～9月2日(日)
開催日数 41日間
会 場 熊本県立美術館本館 1階展示室
主 催 熊本県立美術館
観 覧 料 一 般 260円(190円)
大学生 160円(120円)
高校生以下無料
()内は団体20名以上の料金
観覧者数 6,621人
担 当 者 井上 正敏



趣旨とその成果

当館では、開館以来熊本ゆかりの近・現代作家の代表的な作品を中心に、広く今日の美術の現況を展望できるような現代日本の著名な作家の作品も収集して来た。

今展では、これらのコレクションの中から、1945年以降に制作された作品を展示した。第1室では、第2次世界大戦の爪痕が残る熊本で1945年に浜田知明が描いた《焼け跡のスケッチ》を戦後美術のスタートとしてとらえ、それ以後展開される日本の現代絵画の作品、「虹のアーティスト」として世界的な活躍をしている鬚嘸（アイオー）の油彩画、パリに住みシンプルな形と明快な色彩で描いた菅井汲、我が国の現代絵画を牽引している作家の一人である中村一美など現代作家の優れた作品や、熊本出身でブラジルを代表する画家となったマナブ間部、パリで活躍した森山裕之、東京を拠点に活躍した江田豊、下田悌三郎、丸野幸雄、それに「21世紀アート大賞展」の上位入賞作品など、これまでなかなか展示する機会がなかった貴重な作品を展示紹介した。また、第2、第3室では、境野一之、田代順七、坂本善三など県民になじみの深い作家から、宮崎静夫、蔵本朝美、春口光義の様に国内、海外で活躍するベテランの作家、島田清美、岩田恒介、中村賢次など現在50、60歳代で活躍中の作家まで、熊本の現代美術の展開を紹介した。併せて、第3室には当館が誇るフランス近代絵画の作品等も展示した。

今展は、夏休み期間の児童・生徒もたくさんやってくる時期にあわせて、なかなかまとめて展示紹介することが少ない当館の現代絵画コレクション展の開催となり、熊本ゆかりの作家の作品が多く、熊本の「美術ファン」にはとても好評だった。「加藤清正展」との相乗効果もあり、観覧者数は6,500人を越えた。

秋の名品コレクション展

会 期 平成24年9月11日(火)～10月28日(日)
開催日数 42日間
会 場 熊本県立美術館本館 2階展示室
主 催 熊本県立美術館
観 覧 料 一 般 260円(190円)
大学生 160円(120円)
高校生以下無料
()内は団体20名以上の料金
観覧者数 5,023人
担 当 者 村上 哲



趣旨とその成果

平成23年春、開館35周年を迎えた当館は、県内唯一の総合美術館として永年にわたり幅広いコレクション形成に取り組んできた。収集の大きな柱は、①日本・東洋の古美術、②わが国の近・現代美術、③西洋美術の3つで、平成25年3月31日現在の所蔵品数は4,726点、1,059点の寄託品もあわせて5,335点に及ぶ膨大な作品群となっている。また平成20年度からは東京の永青文庫との協定・連携のもと細川コレクションの紹介や加藤清正関連の収集にも取り組み、施設面でも「細川コレクション・永青文庫展示室」をオープン、さらに本館2F・常設展示室をリニューアルし、平成24年4月から「細川コレクション常設展示室」として展示を開始した。

秋の名品コレクション展では、これらの成果を踏まえながら各ジャンルの優品などを一堂に展示した。第1展示室は永青文庫の甲冑や工芸品などの名品、領内名勝図巻を展示、第2展示室では、竹崎季長ゆかりの《蒙古襲来絵詞》と古文書、近世の絵画や書蹟、工芸品、今西コレクションの肉筆浮世絵などを紹介した。また第3室では、藤田嗣治(レオナルド＝ツグハル・フジタ)を核に、パスキン、キスリングなどエコール・ド・パリの画家や、ルノワール、ヴラマンク、ローランサンら巨匠たちによるフランス近代絵画の名作を展示。またデューラーやレンブラントらの古典版画や、ピカソ、シャガール、サム・フランシス、リキテンスタインなど欧米版画の名品を精選し、絵画と版画とを融合させて展示構成し、西洋美術コレクションの精髓を紹介し、名品たちとの語らいを楽しむ絶好の機会となった。

関連行事

9月15日(土)「ミュージアムセミナー」
演 題：エコール・ド・パリと藤田嗣治
講 師：学芸課主幹 村上 哲
聴講者：31人

冬の名品コレクション展

会 期 平成24年11月3日(土)～12月24日(月)
開館日数 45日間
会 場 熊本県立美術館本館 2階展示室
主 催 熊本県立美術館
観 覧 料 一 般 260円(190円)
大学生 160円(120円)
高校生以下無料
()内は団体20名以上の料金
観覧者数 3,532人
担 当 者 有木 芳隆



趣旨とその成果

冬の名品コレクション展では、秋のコレクション展にひきつづいて細川コレクションや県美コレクションなどの名品を一堂に展示した。

第1室の細川コレクション常設展示室では、永青文庫・細川家の藩主が用いた「三斎流」具足・兜などの武具類や、「細川家の婚礼調度」工芸品などの名品。「古文書が語る細川家の歴史」として、細川三斎の書状を展示した。また、領内名勝図巻から「葦北郡津奈木手永」を展示した。

「県美コレクション」を展示した第2展示室では、竹崎季長ゆかりの《蒙古襲来絵詞》模本（福田太華筆）と季長関係古文書を展示し、阿蘇・西巖殿寺に伝わった十一面観音立像などの仏像を展示した。また、熊本ゆかりの工芸品として「肥後金工」の鐔と同田貫の刀剣。八代焼や小代焼などの肥後の陶磁器や増村益城らの近代工芸品、近世の絵画や書蹟を紹介した。《特集展示》として、「堅山南風をめぐる画家たち」というテーマで、堅山南風と彼に先立つ熊本近代の日本画家たち、高橋廣湖、福島峰雲、山中神風の作品を展示し、熊本に連綿と続いた近代日本画の作品を紹介できた。

また第3室では、藤田嗣治（レオナルド＝ツグハル・フジタ）を核に、パスキン、キスリングなどエコール・ド・パリの画家や、ルノワール、ヴラマンク、ローランサンら巨匠たちによるフランス近代絵画の名作を展示。また「熊本の抽象画家4人の軌跡」と題して、坂本善三や宮崎静一、三浦洋一、江田豊といった現代熊本抽象画の大家たちの作品を紹介した。

関連行事

9月15日(土)「ミュージアムセミナー」
演 題：エコール・ド・パリと藤田嗣治
講 師：学芸課主幹 村上 哲
聴講者：31人

春の名品コレクション展

会 期 平成25年1月2日(火)～3月24日(日)
開館日数 72日間
会 場 熊本県立美術館本館 2階展示室
主 催 熊本県立美術館
特別協力 公益財団法人永青文庫
観覧料 一 般 260円(190円)
大学生 160円(120円)
高校生以下無料
()内は団体20名以上の料金
観覧者数 6,227人
担当者 才藤 あずさ



趣旨とその成果

春の名品コレクション展では、県美コレクションや細川コレクションの名品を中心に、熊本の美術や歴史文化、西洋絵画などを紹介した他、細川家の歴史文化や永青文庫の名品を紹介した。

第1室の細川コレクション常設展示室では、細川三斎^{さんさい}が用いた変わり兜をはじめとする細川家の武器・武具や、6代藩主・細川重賢^{しげかた}の書、細川家の居室を彩った近世の屏風絵や領内名勝図巻を展示した。また、細川護立^{もりたつ}の長女、敏子^{としこ}の初節句の際に詠えられた華やかな雛飾りを展示した。

第2室の美術館コレクション室では、「熊本ゆかりの仏像や神像の世界」^{おぐに}「小国・北里文書に見る肥後の戦国史」というテーマのもと、中世熊本^{きたざと}の歴史と美術の紹介を行った。また、近世熊本^{どうたぬき}の工芸として、同田貫^{どうたぬき}の刀をはじめとする肥後金工^{やつしる}や、八代焼^{しやうだい}・小代焼^{おうだ}・網田焼^{あみだ}といった熊本の陶磁器を展示した。近世絵画のコーナーでは、熊本のコレクター・今西菊松氏^{いまにしきくまつ}が収集した今西コレクションの中から、新春にちなんだ吉祥の画題の浮世絵を展示した。特集展示「近代工芸の華」では、熊本出身の二人の漆芸作家、高野松山^{たかのしやうざん}と増村益城^{ますむら}の漆工芸と、今西菊松氏が収集した平田郷陽^{ひらたごうよう}の衣裳人形を展示した。

第3室では、藤田嗣治^{ふじたつぐはる}をはじめ、パスキン、キスリングなどエコール・ド・パリの画家たちや、ルノワール、ヴラマンク、ローランサンなど近代フランスの巨匠たちの名品を展示した他、熊本県宇城市出身の版画家、野田哲也の版画作品を展示した。

関連行事

2月16日(土)「ミュージアムセミナー」

演 題：近代工芸の世界

講 師：学芸課学芸員 才藤 あずさ

聴講者：20人

近代細川家と絵画—護立コレクションを中心に—

会 期 平成24年4月14日(土)～7月1日(日)
開催日数 69日
会 場 熊本県立美術館本館
細川コレクション常設展示室Ⅱ (永青文庫展示室)
主 催 熊本県立美術館、熊本日日新聞社、RKK熊本放送
特別協力 公益財団法人永青文庫
協 力 熊本ルネッサンス県民運動本部
肥後銀行
観 覧 料 一 般 200円 (150円)
大 学 生 120円 (100円)
高 校 生 以 下 無 料
() 内 は 団 体 20 名 以 上 の 料 金
観 覧 者 数 5,012人
担 当 者 林田 龍太



< 展覧会概要 >

歴代細川家にまつわる美術工芸品から近代日本を代表する美術作品を収蔵する永青文庫。そのコレクション形成に大きく影響を与えた人物のひとりに、第16代当主・細川護立の名を挙げることができる。護立は横山大観や下村観山といった著名な画家たちと交流しながら、洋の東西を問わぬ数多くの美術作品を収集。近代日本を代表するコレクターの一人として知られている。

細川家歴代当主の中でも、護立の絵画への関心は突出したものではあるが、彼が生まれ育った近代細川家に着目すれば、その生活は様々な絵画に彩られていたことがわかる。細川護立がコレクターとなる背景には、近代細川家をめぐる絵画環境がその一要因として働いていたのかもしれない。

本展では、近代以降の細川家に伝わる絵画を、細川護立が収集した絵画作品と併せて展示することにより、近代細川家と絵画の関係をたどることを目的とした。前半では、明治以後も細川家で御用絵師をつとめた^{すぎたにせしやう}杉谷雪樵や、その弟子^{こんどうしやうせん}近藤樵仙による、細川家のために描かれた作品を中心に展示。後半では、護立が最初に購入した^{りんなせい}菱田春草作品《林和靖》など、初期に収集された作品や、自邸を飾るために大観に描かせた^{くさばなすざと}《草花図杉戸》、^{すすき もやいぶねずふすま うんかいずふすま}《薄に舩舟図襖》、^{もりたつ}《雲海図襖》を展示することで、コレクター・細川護立の形成過程をたどった。

細川家と狩野派の美

会 期 平成24年7月18日(水)～9月23日(日)
開催日数 61日
会 場 熊本県立美術館本館
細川コレクション常設展示室Ⅱ (永青文庫展示室)
主 催 熊本県立美術館、熊本日新聞社、RKK熊本放送
特別協力 公益財団法人永青文庫
協 力 熊本ルネッサンス県民運動本部、肥後銀行
観 覧 料 一 般 200円 (150円)
大学生 120円 (100円)
高校生以下無料
() 内は団体20名以上の料金
観覧者数 6,240人
担 当 者 金子 岳史



趣旨とその成果

江戸時代において、江戸狩野派は代々将軍家の御用絵師をつとめ、その影響は各地の大名家にも及んだ。細川家は、熊本における御用絵師・矢野派との関係が強調されるが、藩主は参勤交代により江戸にも基盤があったため、江戸狩野派との関係も強く、永青文庫には狩野派の作品が数多く遺る。探幽以降の江戸狩野派の作品は、粉本主義の徹底により形式化した面白味のないものと捉えられてきたが、近年魅力的な作品が次々と見出され再評価がされつつあった。

また、熊本には「肥後狩野派」と呼ばれる、細川家の御用をつとめた狩野派の画系があった。代々江戸の木挽町狩野家に学び、明治維新までその画系を保ち続けた。

狩野派は、江戸時代における絵画の教育システムを作り上げ、市井の多くの有名な絵師も最初は狩野派に学んだように、江戸時代の絵画の基盤を支えたのは狩野派であると言える。

当館で狩野派を取り上げた展覧会は過去にほとんどなかったこともあり、細川家に伝わる狩野派作品の美しさと、江戸時代における狩野派の役割を紹介することを試みた展覧会であった。同時期開催の「生誕450年記念展 加藤清正」の波及効果もあり、上々の観覧者数であったと思われる。

細川家の婚礼

会 期 平成24年10月5日(金)～12月16日(日)
開催日数 63日
会 場 熊本県立美術館本館
細川コレクション常設展示室Ⅱ（永青文庫展示室）
主 催 熊本県立美術館、熊本日日新聞社、RKK熊本放送
特別協力 公益財団法人永青文庫
協 力 熊本ルネッサンス県民運動本部
肥後銀行
観 覧 料 一 般 200円（150円）
大学生 120円（100円）
高校生以下無料
（ ）内は団体20名以上の料金
観覧者数 5,548人
担当者 才藤 あずさ



趣旨とその成果

江戸時代の大名にとって、婚姻は家と家との結びつきを強め、体制の安泰をはかるための重要な手段であった。そのため、大名の婚姻は幕府の厳しい統制下におかれ、縁組から結納、婚礼にいたるまで、事前に伺いをたて幕府の許可を得る必要があった。婚礼の儀式や調度の規模などにおいても、家格相応に調えることが求められ、各大名家では家格を誇示するために盛大な儀礼が催された。婚礼にあたり調えられた大規模な婚礼調度は、揃いの意匠で統一され美しい蒔絵がほどこされた豪華なもので、大名家の華やかな婚礼の一端がうかがえる。

本展では、肥後熊本藩主細川家における婚礼の様相を、婚礼にまつわる調度や文書の展示を通じて紹介した。婚礼行列の規式を記した《婚礼輿入行列規式》、魔除けの道具として婚礼行列に加えられた《犬張子》、《葵紋蒔絵洗張道具》、婚礼の献立や床飾りの飾り付けを描いた《婚礼膳部之図式》、細川家12代細川斉護の夫人・益姫の婚礼調度として準備された違鷹羽紋蒔絵の調度など、大名家の婚礼を彩った多彩な調度品の数々を展示した。

展示会の来館者の中には特に女性の姿が目立ち、皆熱心に観覧している様子が見られた。婚礼は大名文化を知る上でいくつもの要素を含んだ重要なテーマであり、本展ではその一端を示す上で意義のあるものであった。

藩校時習館物語

会 期 平成25年1月9日(水)～3月24日(日)
開催日数 66日
会 場 熊本県立美術館本館
細川コレクション常設展示室Ⅱ (永青文庫展示室)
主 催 熊本県立美術館、熊本日日新聞社、RKK熊本放送
特別協力 公益財団法人永青文庫
協 力 「熊本ルネッサンス」県民運動本部
肥後銀行
観 覧 料 一 般 200円 (150円)
大学生 120円 (100円)
高校生以下無料
()内は団体20名以上の料金
観覧者数 5,403人
担当者 宮川 聖子



趣旨とその成果

「時習館」とは、江戸時代に熊本城二の丸に所在した、熊本藩の文芸教授所のことである。第6代藩主細川重賢の治世下に実施された「宝暦の改革」の一環として、人材育成を目的とし、宝暦5年(1755)に開校した。二の丸には、時習館に加え武芸演習所として「東榭・西榭」も作られ、両所は明治3年(1870)に廃校となるまで、文武両道を基本に藩立の教育機関として機能していた。時習館は、藩士の子弟のみならず成績優秀であれば庶民にも入学を許したことと、生徒に学問を修得させるための教育「課程」を設けたことに特徴があり、諸国から見学者が訪れ、その学校制度や教育内容が喧伝されている。

この展覧会では、時習館の設立経緯や教育活動の様子、そこから巣立っていった人材の活躍を紹介した。藩校の創設者である重賢の肖像画、時習館の玄関に掲げられていた《時習館扁額》、初代教授である秋山玉山が勘案し、教育理念や学則を記した《時習館学規》、蔵書整理等に使用されていた印章《旧時習館印》、教材として使用していた漢籍や楽器、時習館での諸活動に係ることを記録した藩政文書に加え、時習館出身で幕末から明治にかけて活躍した横井小楠・元田永孚・井上毅に関する歴史資料等を展示した。

本展は、時習館での教育実態を可能な限り描き出すことを前提とし、更に近世から近代へと移行する、時代のうねりの中で時習館が果たした役割について感じて頂きたく、企画したものであった。冬季開催ではあったが、時習館への興味・関心が高かったことと、「大原美術館展」の追い風によって質問や問い合わせの多い展覧会となった。

熊日創立70周年記念 生誕450年記念展 加藤清正

会 期 平成24年7月20日(金)～9月2日(日)
開催日数 41日
会 場 熊本県立美術館本館 2階展示室
主 催 熊本県立美術館、熊本日新聞社、RKK熊本放送
後 援 熊本県文化協会／熊本県市町村教育委員会連絡協議会
熊本県図画工作・美術教育研究会
熊本県高等学校文化連盟／熊本県博物館連絡協議会
熊本県高等学校教育研究会美術・工芸部会
NHK熊本放送局／エフエム熊本／FM791
「熊本城400年と熊本ルネッサンス」県民運動本部
協 賛 株式会社お菓子の香梅
観 覧 料 一般800円(600円) 大学生500円(400円)
高校生以下無料
※()内は前売・団体(20名以上)の料金
観覧者数 26,938人
担 当 者 山田 貴司



趣旨とその成果

秀吉子飼いの武将として豊臣政権を支える一方、肥後熊本の大名として地域の歴史・文化に大きな足跡を残し、死後には神格化されて民衆信仰の対象となった加藤清正。虎退治に代表される様々な伝承・伝説に彩られ、いまでも多くの歴史ファンを魅了し続けるわりに、あまり知られていない清正の生涯を紹介し、日本及び熊本の歴史・文化に触れてもらうというコンセプトのもと、生誕450年を記念する本展は、全国各地に点在するゆかりの品々を一堂に集めて開催された。

展示構成は、第1章「若き日の清正」、第2章「文禄・慶長の役と加藤清正」、第3章「秀吉没後、清正の選択」、第4章「清正のすがお」、第5章「神になった加藤清正」という章だて。古文書・肖像画・彫刻・合戦図屏風・武具・調度品など多分野に及ぶ作品137点の展覧を通じて、これまでのイメージとは異なる等身大の清正像を描き出さんとした。

有名な史実やエピソードをトピックとして織り込みつつ、徹底的に生涯を追う格好で構成された展示の流れは、おおむね明快。作品の数は少なくなかったけれど、バラエティに富んでいたこともあって、観覧者には飽きることなく展示を見ていただけたようだ。最終的な観覧者数は26,938人。当館で開催した古美術・歴史系展覧会としてはトップクラスで、予想をはるかに上回った。また、決定版というべき仕上がりを目指した展覧会図録は完売。根強い清正人気をうまく掘り起こせた結果であろうか。ともあれ、生誕450年を記念するに相応しい規模と内容を備えた展覧会として、所期の使命は達成しえたとみてよいだろう。

関連行事

7月21日(土) 特別講演会

演題：加藤清正の生涯

講師：稲葉継陽氏(熊本大学文学部附属永青文庫研究センター教授)

聴講者：167人

8月11日(土) 特別講演会

演題：「清正公」信仰の成立と展開

講師：福西大輔氏（熊本博物館学芸員）

聴講者：108人

8月12日（日）花押づくりワークショップ

講師：大浪和弥氏（延岡市教育委員会学芸員）

参加者：40人

8月19日（日）子ども美術館「特大おりがみで清正のかぶとづくり」

参加者：67人

8月19日（日）女子会セミナー「清正公さんをめぐる、ここだけの話」

講師：山田貴司（当館主任学芸員）

聴講者：65人

8月25日（土）特別講演会

演題：加藤清正と文禄・慶長の役

講師：中野等氏（九州大学大学院比較社会文化研究員教授）

聴講者：250人

熊日創立 70 周年記念

大原美術館展—名画への招待—

ロートレック、キリコ、青木繁、佐伯祐三ら東西の傑作を一堂に

Selected Works from the Ohara Museum of Art

会 期 平成24年12月14日(金)
～平成25年2月11日(月・祝)
開催日数 47日間
会 場 熊本県立美術館本館 1階展示室
主 催 熊本県立美術館／熊本日日新聞社／RKK 熊本放送
後 援 熊本県文化協会／熊本県市町村教育委員会連絡協議会
熊本県図画工作・美術教育研究会
熊本県高等学校教育研究会美術・工芸部会
熊本県高等学校文化連盟／熊本県博物館連絡協議会
NHK熊本放送局／エフエム熊本／FM791
熊本ルネッサンス県民運動本部
特別協力 公益財団法人 大原美術館
特別協賛 肥後銀行
観 覧 料 一般1,300円(1,000円)／
高・大学生800円(500円)
中学生以下は無料
()内は前売・団体20名以上の料金
観覧者数 23,921人
担 当 者 村上 哲



趣旨とその成果

大原美術館は、日本で初めて西洋美術を本格的に紹介する美の殿堂として、1930年(昭和5年)に岡山県倉敷市に設立された、わが国を代表する美術館である。全国屈指の質を誇る所蔵品の素晴らしさは、国内のみならず世界的にも広く知られている。名高いこのコレクションの基礎を築いたのは、倉敷を基盤に活躍した事業家の大原孫三郎と、その親友であった岡山出身の画家、児島虎次郎であった。孫三郎と虎次郎が目指したものは、わが国の人々に優れた西洋絵画の鑑賞の機会を提供するとともに、豊かな芸術研究の場を築くという高邁な精神に基づく美術館構想であった。

第二次大戦後、創設者の志を引き継いだ大原總一郎は、「美術館は生きて成長していくもの」という信念に基づいて、同時代の美術動向にも目を注ぎ、欧米の現代アートの収集に積極的に取り組んでいる。その一方で、明治・大正・昭和期のわが国の近代洋画も体系的に収集され、比類なき一大コレクションが築き上げられた。21世紀を迎えた今日、大原美術館は高い理想と強い使命感のもと、子どもたちのための教育普及活動をはじめ、活躍中の現代作家の作品収集や制作活動の支援にも力を注ぐなど、未来へと躍動する美術館として多彩な活動が展開されている。

本展では、「名画への招待」のテーマのもと、大原美術館のコレクションにより東西の名作を一堂に紹介。ロートレックやヴラマンクなどヨーロッパ絵画の傑作が並んだ第1章「西洋絵画の精華」、青木繁や佐伯祐三などわが国の洋画家の名作で構成された第2章「日本の近代絵画」、サム・フランシスらの大作による第3章「欧米の現代アート」、第二次大戦後の前衛美術が出品された第4章「日本の現代美術」など、全体を四つの章に分けて選りすぐりの優品を公開した。西洋絵画やわが国の近代洋画による美の系譜や、東西の現代アートの競演などを堪能できるまたとない機会となった。展示構成面では、当館のゆとりのある展示室スペースを有効に活用した効果的な展示空間が実現でき、東西の名画を時代や潮流に沿った明快な構成で来館者の好評を得た。また記念講演会をはじめ各種関連イベントも好評で、多くの参加者・聴講者を集めた。本

展は、熊本日日新聞社の創立70周年を記念して開催された。

関連事業

- ① 記念講演会 「東西の傑作 大原美術館の魅力」
日 時： 12月14日（金）11：00～12：00
場 所： 本館・講堂
講 師： 大原美術館 館長 高階秀爾 氏
聴講者： 207人
- ② スライド・トーク&ギャラリー・ツアー
「名画への招待—大原美術館コレクション」20名以上のグループ・団体への鑑賞プログラム
期 間： 12月14日（金）～2月11日（月・祝）
場 所： 本館・講堂、展示会場、吹抜ホール等
講 師： 当館学芸課 主幹・村上 哲
予約団体： 計20回実施＝参加延べ人数1,000人
- ③ ミュージアム・セミナー
「大原コレクションへのいざない」
日 時： 1月26日（土）13：30～15：00
場 所： 本館・講堂
講 師： 当館学芸課主幹・村上 哲（西洋美術担当）
聴講者： 109人
- ④ こども美術館 「親子で名画鑑賞ツアー」
日 時： 1月20日（日）10：30～12：00
場 所： 本館・講堂
参加者： 39人
- ⑤ ミュージアム・コンサート
「名画と名曲でクリスマス」
日 時： 12月22日（土）14：00～15：00 本館・吹抜ホール
出 演： トランスコンチネンタルDUO
梶本ひろ子氏（フルート）
イゴール・ゴルガー氏（クラシック・ギター、ロシアンギター）
スペシャル・ゲスト デビッド・マシューズ（from マンハッタン・ジャズ・クインテット）
聴 衆： 300人

平成24年度スクールミュージアム

主催 熊本県立美術館
展示物 浜田知明氏の作品（銅版画、原板）
観覧者 7校
合計1802名
担当者 森本猛、井上正敏



趣旨とその成果

平成18年（2006）より、学校に歩み寄った教育普及活動として本館収蔵作品を学校へ持ち込んで学校を美術館にする「スクールミュージアム」を開催している。本活動を、美術作品を鑑賞することで子どもたちの芸術、文化を愛好する心情を育てると共に、学校の協力により、保護者、地域にもひろく本館収蔵品を知ってもらう機会としている。

本年度については、4月に県内の学校に募集要項をメールで配布し、希望を募った。県内各地から7校の希望があり、10月から11月の期間に県内小中高等学校等で各1日実施した。

具体的な内容については事前に開催校に赴いて協議し、鑑賞における要望等、担当者と話合っって具体的な実施計画を組み立てた。浜田知明の版画作品の中から学校側の希望を参考にしながら展示作品を決定した。当日の活動は授業参観や研究授業、文化祭で設定する等、開催校によって内容は様々であるが、作品展示中は美術館職員が常時在室し、必要に応じてギャラリートークを行った。

開催校では、子どもたちや保護者の方々からは、貴重な体験だと好評だった。子どもたちにとって美術鑑賞の最初の入り口として学校における鑑賞教育が充実することは、将来にわたって美術を愛好する態度を育てることにつながると考える。また、見学に来られた地域の方々の中には、作品の前で立ち止まってしまい、作者の心情に触れて涙を流される方もいるなど、本物の作品を鑑賞することで、感動の度合いが違うということを実感したとともに、スクールミュージアムを実施する意義は大きいと感じた。

実施日	学校名	児童・生徒参加数	保護者等参加数	合計
10月 7日(日)	熊本県立天草工業高等学校	180	25	205
10月19日(金)	あさぎり町立岡原小学校	165	15	180
10月30日(火)	五木村立五木中学校	42	27	69
11月 6日(火)	天草市立本渡中学校	800	50	850
11月10日(土)	熊本県立甲佐高等学校	226	72	298
11月15日(木)	熊本市立田原小学校	103	18	121
11月20日(火)	上天草市立維和中学校	62	17	79
総計		1578	224	1802

菊池恵楓園 1日移動美術展「浜田知明作品展2012秋」

会 期 平成24年11月3日(木・祝)
開催日数 1日間
会 場 国立療養所菊池恵楓園 社会交流会館
主 催 熊本県立美術館
国立療養所菊池恵楓園入所者自治会
国立療養所菊池恵楓園
観 覧 料 無料
観覧者数 60人
担 当 者 井上正敏



浜田知明作品展'12秋

浜田知明《むし暑い夜》 1985 エッチング・アクワチント

1951 銅版画《初年兵哀歌(戦いのあと)》

1985 油彩画《黒点》

入場無料

11月3日(土・文化の日) 11:00~16:00

会場 国立療養所菊池恵楓園社会交流会館
主催 熊本県立美術館
国立療養所菊池恵楓園
菊池恵楓園入所者自治会

趣旨とその成果

長年にわたって浜田知明作品をコレクションして来られた永野一成氏は、上益城郡を中心に小・中学校で教職に就き、人権教育の実践者としてよく知られた教師であったが、2005年逝去された。生前、ハンセン病問題の啓発活動にも深く関わり、菊池恵楓園での展覧会を通し入所者や地域の方々に人間愛にあふれる浜田作品を見てもらいたいと願っておられた。その浜田知明作品160余点は、奥様から県立美術館に一括して寄贈いただき、スクール・ミュージアムなどに活用されている。

今回で6回目となった本展は、浜田知明の1951年作の銅版画^{しよわんへいあいか}《初年兵哀歌(戦いのあと)》、1985年作の《むし暑い夜》など16点、宮崎静夫の〈シベリアシリーズ〉の油彩画《黒点》1点を展示し、恵楓園の入所者や職員、そして地域の方々に間近で鑑賞していただく機会となった。「作家の言葉」も作品の横に掲示しているので、みなさん時間をかけて「言葉」を読んだり、作品を見たりされる。会場は、ハンセン病の歴史がわかる「資料館」の一角で、最近学芸員が配置され、充実した展示になってきていて、作品展とともに展示資料を見ていただくのもこの催しの魅力になってきている。だから、毎年この展覧会を楽しみに県外から出かけて来られる方もおられるようになった。



菊池恵楓園「浜田知明作品展 2012秋」会場にて

■浜田知明室

概要

・今年度の浜田知明室の作品展示は、5期に分けて浜田版画の初期から10点ずつの展示、それと関連のある彫刻作品の展示を1点ずつ行った。また、今年度は国内外での大規模な「浜田知明展」の開催はなかったものの、長野の信濃デッサン館での「堀井コレクションによる 浜田知明の世界展」が開催されたり、ニューヨークの近代美術館での「東京 1955-1970」展に《初年兵哀歌（風景）》等が展示されたりした。



会場 熊本県立美術館本館 2階浜田知明版画室

担当者 井上正敏

◆会期・出品作品リスト

□第1期（4月28日～7月1日）

- ◇版画：《聖馬》、《Marikoに》、《幼きキリスト》、《人》、《首》、《初年兵哀歌（銃架のかげ）》、《初年兵哀歌（便所の伝説）》、《初年兵哀歌（戦いのあと）》、《初年兵哀歌（歩哨）》、《初年兵哀歌（ぐにゃぐにゃとした太陽がのぼる）》
- ◇彫刻：《芋虫の兵隊（B）》 1995年作

□第2期（7月20日～9月2日）

- ◇版画：◇版画：《初年兵哀歌（便所の伝説）》、《初年兵哀歌（風景）》、《初年兵哀歌》、《初年兵哀歌（山を行く砲兵隊）》、《初年兵哀歌（陣地）》、《風景》、《風景》、《絞首台》、《初年兵哀歌（歩哨）》、《初年兵哀歌－風景（一隅）》
- ◇彫刻：《便所の伝説》 1997年作

□第3期（9月11日～10月28日）

- ◇版画：《よみがえる亡霊》、《副校長D氏像》、《人》、《狂った男》、《愛の歌》、《飛翔》、《地方名士》、《群盲》、《女》、《怠惰》
- ◇彫刻：《人》 1992年作

□第4期（11月3日～12月24日）

- ◇版画：《壁》、《噂》、《馬のトルソー》、《かげ》、《狂った男》、《詩人》、《現代の長城》、《カタコンベ》、《風景》、《騎士達は静かに眠る》
- ◇彫刻：《詩人》 1999年作

□第5期（1月2日～3月24日）

- ◇版画：《ロンドン塔》、《騎士と鍵と女》、《地下牢》、《鏡》、《ドーバー海峡》、《パリの窓から》、《フランドル伯城》、《ウィーン》、《グランプラス》、《グランプラス》
- ◇彫刻：《老いたる騎士》 1998年作

◆今年度の主な展覧会など

○雑誌掲載：『美術手帳』（2012年6月号）

特集「頂上バトル！日本近代美術の傑作150」

美術評論家・北澤憲昭監修による「日本近代美術ベスト150」作品を選定する企画。001 ^{こせだよしまつ}五姓田義松、002 原田直二郎から、130 野見山暁治までの130人の150作品を紹介している。浜田知明は、099(順番は、選定された作品の制作年順)にあり、1952年の《初年兵哀歌(風景)》と2002年の彫刻《かげ・みえない壁》が選ばれ、1ページを使って紹介されている。作家のPROFILEの他に、神奈川県立近代美術館の橋秀文氏が「戦争と軍隊の体験を経て表現される無限の人間愛」という解説文を載せている。

□ 信濃デッサン館「堀井一四コレクションによるー 浜田知明の世界展」

長野県出身の実業家、故・堀井一四(ほりい・かずし)氏が収集されていた浜田知明作品(版画・彫刻作品30余点)を展示した。

展覧会の案内文より「版画・彫刻家の浜田知明氏は、第二次世界大戦に出征し、20代を軍隊で過ごしました。／理不尽な世界のありように直面し、『初年兵哀歌』シリーズを生み出します。／時にあやまちを犯し、愛しい、滑稽な人間はこれからどこへ向かっていくのか。／100年近く時代を見つめてきた浜田知明氏の静かなまなざしを、ぜひ感じてください。」

会期：2012年7月28日(土)～8月23日(木)

会場：「槐多庵」(「信濃デッサン館」別館) 長野県上田市古安曾 3478

□ 神田日勝記念美術館「^{かんだにっしょう}神田日勝と新具象の画家たち」

浜田知明の《初年兵哀歌(風景)》等が展示された。

会期：2012年10月23日(火)～12月9日(日)

会場：神田日勝記念美術館

□ ニューヨーク近代美術館「東京 1955-1970」

1955年から1970年の期間に東京を拠点に活躍した芸術家や実験工房、ハイレッドセンターなどの活動を紹介する展覧会。ニューヨーク近代美術館と今年設立40周年を迎えた国際交流基金との共催。浜田知明の《初年兵哀歌(風景)》等11点が展示された。

会期：2012年11月18日(日)～2013年2月25日(月)

会場：ニューヨーク近代美術館(6階特別展示室)

■装飾古墳室

〈常設展示室〉

装飾古墳室は、古代から現代に至る本県の美術史の原点として設けたものである。

九州における装飾古墳は、5世紀から7世紀にかけて盛行して、現在全国で発見されている約660基の過半数369基が九州地方に、特に196基が熊本県に集中している。

装飾古墳の簡単な定義づけは、特徴的なその装飾性にあるといえる。直弧文・円文・三角文等の幾何学文様と、武器・武具、人や動物、船や家などの具象形の文様が、彩色されたり彫刻されて墳墓や横穴を飾っている。赤・青・白などの単純で強烈な色彩や、素朴で躍動的な造型性は、われわれの心を揺り動かす。

しかし、装飾古墳は、崩壊の一途をたどっているのが現実である。当美術館は公開と保存という矛盾の中から解決を探る試みとして、精巧なレプリカや模刻・模写という方法で地元の偉大な文化遺産を写しとった。



〈レプリカ・模刻〉

No. 名称	出土地名	指定
1 大村横穴	人吉市城本町	国指定史跡
2 千金甲古墳（1号）	熊本市西区小島下町	〃
3 井寺古墳	上益城郡嘉島町	〃
4 鍋田横穴	山鹿市大字鍋田	〃
5 弁慶ヶ穴古墳	山鹿市熊入町	〃
6 チブサン古墳	山鹿市大字城字西福寺	〃

〈石材・石人等〉

No. 名称	出土地名	所蔵（保管）者名
1 広浦古墳石棺石材	上天草市大矢野町	県立済々黌高等学校
2 鴨籠古墳石棺	宇城市不知火町	熊本大学
3 臼塚古墳石人	山鹿市大字石	県立鹿本商工高等学校
4 姫ノ城古墳出土翳・蓋・鞆	八代郡氷川町	氷川町教育委員会

■教育普及

□各種講座等

子ども美術館活動

回	期日	曜	タイトル	講師	場所	参加者数
1	4月22日	日	親子で楽しもう! 永青文庫鑑賞のツボ	森本猛(主幹)、林田龍太(学芸員)、わーくしょっぷの会、子ども美術館ボランティア	本館講堂 展示室	13
2	5月20日	日	親子で能たいけん	狩野琇鵬(喜多流能楽師)、森本猛(主幹)、わーくしょっぷの会、子ども美術館ボランティア	本館講堂 展示室	28
3	7月29日	日	きみも狩野派!絵師たいけん	森本猛(主幹)、わーくしょっぷの会、子ども美術館ボランティア	本館講堂 展示室	53
4	8月19日	日	特大おりがみ清正かぶとづくり	森本猛(主幹)、山田貴司(学芸員)、わーくしょっぷの会、子ども美術館ボランティア	本館講堂 展示室	67
5	10月21日	日	親子で茶道たいけん	松井照子(肥後古流教授)、森本猛(主幹)、才藤あずさ(学芸員)、わーくしょっぷの会、子ども美術館ボランティア	本館講堂 展示室	38
6	1月20日	日	親子で名画鑑賞ツアー	森本猛(主幹)、村上哲(主幹)、わーくしょっぷの会、子ども美術館ボランティア	本館講堂 展示室	39
7	3月3日	日	永青文庫たんけん隊! 名品をさぐる	森本猛(主幹)、宮川聖子(学芸員)、わーくしょっぷの会、子ども美術館ボランティア	本館講堂 展示室	10
合計						248

出張授業及び研修等

回	期日	内容	場所	担当者
1	6月3日	表千家熊本支部講演会 講師	県民交流館パレア	山田貴司(主任学芸員)
2	6月3日	くまもと県民カレッジ 講師	本館講堂	有木芳隆(主幹)
3	6月16日	アクロス文化学び塾 講師	アクロス福岡	山田貴司(主任学芸員)
4	6月16日	山江歴史遺産発見講座 講師	高寺院	有木芳隆(主幹)
5	11月3日	福岡県立美術館 クロストーク 講師	福岡県立美術館	林田龍太(主任学芸員)
6	11月30日	第55回熊本県図画工作・美術教育研究大会 助言者	ながす未来館	井上正敏(参事)
7	12月18日	北部公民館講座 講師	北部公民館	村上 哲(主幹)
8	1月25日	くまもとよかところ案内人の会研修 講師	本館講堂	山田貴司(主任学芸員)
9	2月9日	熊本県立大学 紫苑会セミナー 講師	熊本県立大学	才藤あずさ(学芸員)

□ミュージアムセミナー ～熊本県立美術館 美術鑑賞講座～

回	期日	曜	タイトル	担当	場 所	参加者数
1	5月3日	木	よみがえった名品 —「狩猟図」と「帝鑑図屏風」—	金子岳史(学芸員)	本館講堂 展示室	20
2	9月15日	土	エコール・ド・パリと藤田嗣治	村上哲(主幹)	本館講堂 展示室	31
3	11月17日	土	堅山南風《霜月頃》をめぐって	古家良一(学芸課参事)	本館講堂 展示室	17
4	1月26日	土	大原コレクションへのいざない	村上哲(主幹)	本館講堂 展示室	109
5	2月16日	土	近代工芸の世界	才藤あずさ(学芸員)	本館講堂 展示室	20
合計						197

□実技講座

期 日	タイトル	講 師	場 所	参加者数
5月22日(火)～26日(土) 5月29日(火)～6月2日(土) 全10日間	テンペラ	長嶋康雄氏	本館講堂	11
9月9日、9月16日、9月23日、9月30日 10月7日(何れも日曜日) 全5日間	クロッキー教室	講師なし (自主講座)	本館講堂	29
11月6日(火)～11月10日(土) 連続5日間	木版画	小坂肇氏	本館講堂	6
※「テンペラ」「木版画」の講座は講師の希望により受講者を少人数で設定している。				合計 46

□学芸員資格取得課程実習（博物館実習）

期 日	実習生所属大学等	実習生数	場 所	担 当
8月22日(水) ～8月28日(火)	熊本大学、鳥取大学、多摩美術大学、京都女子大学、大谷大学、九州産業大学、筑紫女学園大学、崇城大学	11名	本館 会議室等	村上哲(学芸課主幹) 他学芸課職員

□学芸員資格取得課程関連講義

期 日	内 容	場 所	担 当
1月15日(火) 1月22日(火)	熊本大学学芸員課程美術資料論講義	熊本大学文学部	村上哲(学芸課主幹)

□熊本市内中学校ナイスライ（職場実習）事業協力

期 日	学 校	担 当	場 所	参加者数
9月 11日(水)～13日(金)	熊本市立京陵中学校 熊本市立三和中学校	才藤あずさ、 森本猛、他	会場受付、監視 補助、鑑賞教材 作成補助	5
合計				5

□平成24年度「講座 細川コレクション」

熊本県立美術館では平成20年4月の永青文庫展示室のオープン以来、「講座 細川コレクション」を開催している。この講座は、美術史や日本史を専門とする研究者を講師に迎え、永青文庫に伝来した美術工芸品や古文書についてお話いただくというものである。

講師の先生方は各分野のスペシャリストで、ユーモアを交えつつ、丁寧でわかりやすいお話を披露いただいている。

- 1 講座名 講座 細川コレクション
- 2 主 催 熊本県立美術館
- 3 会 場 県立美術館本館 講堂
- 4 期 日 何れも土曜日、13：30～15：00、聴講無料、事前申込不要

期日	テーマ・内容	講師	聴講者数
1 6月9日	近代細川家のなりわいについて 明治維新以後、熊本を離れ東京で「華族」として生きることとなった細川家。彼らがどのような仕事をし、どのような暮らしをしていたのか、知られざる近代細川家のなりわいを紹介。	大阪大学 名誉教授 いかいたかあき 猪飼隆明 氏	62
2 7月28日	狩野派の展開と細川家 室町時代の狩野正信以来、400年もの間画系を保ち続け、大名文化を支えた狩野派。その狩野派の展開と、細川家と狩野派の関係を、作品を取り上げながら解説。	公益財団法人 永青文庫学芸員 みやけひでかず 三宅秀和 氏	30
3 10月13日	婚礼に見る武家文化の諸相 武家文化を知る上で数々の興味深いテーマを含む婚礼。その婚礼のもつ政治的・文化的側面や、婚礼調度の美術史的意義を、細川家伝来の婚礼調度や歴史資料を中心に解説。	八代市 文化まちづくり課 文化財係長 やまさき せつ 山崎 撰 氏	48
4 3月2日	藩校の終焉と「学問」の近代 藩校への関心はその成立期と発展期とに集中しており、終焉期は見過ごされがち。しかし、幕末の藩校では教育課程や方法を、社会の大変化に対応させようとして様々な努力を実施しており、その取り組みについて紹介。	熊本大学文学部 准教授 みさわ じゆん 三澤 純 氏	58
合計			198

□平成24年度熊本県立美術館ボランティアの活動

平成4年度、県立美術館友の会主催の展覧会における案内と作品解説のボランティア活動を友の会会員に呼びかけ、その後も図書・美術資料の整理等に参加をいただいたことが、ボランティア活動のはじまりとなった。

平成5年度から本格的に取り組むこととなり、一般公募を行い、60数名の応募を得て、養成講座、他館視察、図書資料の整理、広報物の発送などを行った。養成講座は美術に関する基礎的な知識、本館収蔵品、熊本の美術などについて、常設展の解説ボランティアとして必要な学習を積む内容だった。平成5年度と6年度は国の「社会教育施設ボランティア活動推進事業」の委嘱を受けて活動を進めた。平成7年度からは養成講座に加えて美術史研修講座を開始した。姫野豊氏を講師に、年間11回～12回を実施し、平成9年度まで継続した。平成8年度から解説ボランティア養成〔東洋・日本美術、工芸、近現代美術、西洋美術、子ども美術館〕の研修を月1～2回行った。

平成9年度「今西コレクションの人間国宝展」において、初めて解説ボランティアに取り組んだ。これ以降、作業グループと学習グループ、そして学習グループを経ての展覧会ガイドという、県立美術館のボランティア活動が形づくられて今日に至っている。

平成24年度の美術館ボランティア活動は46名のスタッフで始まった。当館のホームページを見て、年度内に新たに2人が加入された。

毎月の世話人会、図書や資料整理、ポスターの貼替・チラシの整理、日曜祝日の展覧会ガイド、日本美術・西洋美術・館蔵コレクションの学習、ポスター・チラシ等の発送作業、障がいのある方々の鑑賞デー、手でのみる造型展支援など、地道に活動していただいた。

「美術館ボランティア」から「美術館サポートボランティア」へ

ボランティア発足から20年が過ぎ、本年度はボランティア活動を見直すという節目の年になった。美術館のボランティア活動方針を出すに当たって、美術館の活動を支えていただくことを目的とし、作業を主としたボランティアの原点に立ち帰り、活動を見直すことになった。その結果、学習会や解説ボランティアガイドの活動は本年度限りとなった。会員の皆さまからはいろいろご意見もいただいたが、美術館の方針に御理解いただき、平成25年度から新体制でスタートすることになった。

障がいのある方々の観賞デー

本年度は、8月27日（月）「加藤清正展」、1月28日（月）「大原美術館展」の2回、開催した。午前午後の交替制で多数のボランティア会員にご協力をいただき、館内案内、展覧会案内、車椅子の移動支援など、障がいのある方々への支援に取り組んだ。また、今年度初めて、美術館職員の障がい者支援のための事前研修を行ったが、多くのボランティアの方々にも意欲的に参加していただいた。

手でのみる造型展

熊本県文化協会が主催する「第23回手でのみる造型展」が2月5日から11日まで、本館講堂で開催された。美術館では、期間中、エントランスホール内にある彫刻作品に触って鑑賞できるという取り組みを行い、ボランティアのみなさんに交替で対応してもらった。1階で開催中の「大原美術館展」と重なったこともあり、多くの方に興味を持っていただくことができた。

□ 平成24年度 NHK・美術館コンサート記録

回	月	日	曜	時間	出演団体	曲目	場所	
142	5	19	土	午後2:00 ~3:15	第1部 後藤夢奏(ピアノ)	エチュード 第3番 ホ長調 作品 10-3 「別れの曲」 ピアノ・ソナタ 第3番 短調 作品 58 第1楽章、第4楽章 "鏡"より 4. 道化師の朝の歌	ショパン作曲 ショパン作曲 ラヴェル作曲	吹き抜けホール 熊本県立美術館
					第2部 ラスカーラプラス(金管アンサンブル)	碧と緑のファンファーレ ソナタ 吟遊詩人の歌 A Song for japan 崖の上のポニョメドレー となりのトトロ (となりのトトロ~さんぽ) 誰も寝てはならぬ	大内邦靖作曲 作曲者不詳 フェルヘルスト作曲 久石譲作曲 久石譲作曲 ブッチーニ作曲	
143	9	22	土	午後2:00 ~3:15	第1部 Piace(バイオリンデュオ) 黒葛原康子、黒木奈津美	さくらさくら変奏曲 ホーム、スイート・ホーム 二台のヴァイオリンのための44の二重奏曲より抜粋 1. トランシルヴァニアの踊り、2. おとぎ話、3. プルレスケ 4. 悲しみ、5. バグパイプ、6. 新年の挨拶、7. アラビアの歌	日本古謡 ビショップ~ファーマー作曲	同上
					第2部 ラスカーラ木管アンサンブル(木管五重奏)	木管五重奏曲より 第1楽章 リトルネグロ ダンス組曲より チャールストン 美しき日本	P. タファネル作曲 C. ドビュッシー作曲 N. ハーラム作曲 酒井雅之編曲	
144	12	1	土	午後1:30 ~4:00	第1部 櫻木靖子(マリンバ) 伴奏:小野田美緒(ピアノ)	第1部 無伴奏パルティータ3番 ロマンティックな子守唄 中国の太鼓	バッハ作曲 クライスラー作曲 クライスラー作曲	同上
					森一久雄(ハーモニカ)	荒城の月 さくらの旋律による変奏 小鹿のバンビ お祭りマンボ ラ・クンパルシータ パリのお嬢さん トルコ行進曲	滝廉太郎作曲 (日本古謡) 平岡照章作曲 原 六朗作曲 ヘラルド・エルナン・マツ・ロドリゲス作曲 ポール・デュラン作曲 モーツァルト作曲	
					第2部 宮下華奈(クラリネット) 伴奏:島優子(ピアノ)	カンツォネッタ ハバネラ形式による小品 亜麻色の髪乙女 五重奏曲より第2楽章、第4楽章	ピエルネ作曲 ラヴェル作曲 ドビュッシー作曲 ウェーバー作曲	
					河野明子(ソプラノ) 伴奏:峯文子(ピアノ)	もののけ姫 かんびよう 霧と話した ノクターン 遺作 嬰ハ短調 (※ピアノソロ) Ave Maria (アヴェ・マリア) O mio babbino caro (私の愛しいお父さん) O sole mio (私の太陽)	久石譲作曲、宮崎駿作詞 福井文彦作曲、北原白秋作詞 中田喜道作曲、鎌田忠良作詞 ショパン作曲 カッチーニ ブッチーニ ディカプア作曲、カプッロ作詞	
145	2	23	土	午後2:00 ~3:15	第1部 熊本ポリフォニックアンサンブル(合唱)	Miserere mei Deus / 我を憐れみたまえ Veni Creator / 来れ聖霊よ In paradisum / 天国へと Tantum ergo / かくも大いなる秘跡 Popule meus / わが民人よ Jesu dulcis memoria / イエスの甘き思い出 Il bianco dolce cingo / 白くて優しい白鳥 L'amour, la mort et la vie / 愛と死と生と	グレゴリオ聖歌~「サカラメンタ提要」より グレゴリオ聖歌~「サカラメンタ提要」より グレゴリオ聖歌~「サカラメンタ提要」より ビクトリア作曲 ビクトリア作曲 ビクトリア作曲 アルカデルト作曲 ジャスカン作曲	同上
					第2部 島優子(ピアノ)	華麗なる大円舞曲 幻想即興曲 「荒城の月」の主題による変奏曲	ショパン作曲 ショパン作曲 平井康三郎作曲	

IV 資料

■観覧者状況及び事業報告

□年度別入館者数

年 度	主催・共催展				貸 会 場				計			
	回数	日数	入場者数	1日平均入場者数	回数	日数	入場者数	1日平均入場者数	回数	日数	入場者数	1日平均入場者数
昭和50年度	1	19	23,507	1,237	0	0	0	0	1	19	23,507	1,237
昭和51年度	18	412	302,395	734	17	101	46,471	460	35	513	348,866	680
昭和52年度	14	350	89,775	257	25	158	58,426	370	39	508	148,201	292
昭和53年度	18	438	205,025	468	19	137	76,183	556	37	575	281,208	489
昭和54年度	18	379	136,566	360	25	139	45,824	330	43	518	182,390	352
昭和55年度	16	365	110,593	303	24	173	61,261	354	40	538	171,854	319
昭和56年度	18	412	105,317	256	26	186	55,464	298	44	598	160,781	269
昭和57年度	15	433	182,457	421	25	162	50,476	312	40	595	232,933	391
昭和58年度	16	389	119,773	308	24	182	60,385	332	40	571	180,158	316
昭和59年度	16	398	103,005	259	25	155	47,687	308	41	553	150,692	272
昭和60年度	15	402	80,805	201	24	180	89,936	500	39	582	170,741	293
昭和61年度	16	438	137,798	315	28	186	48,321	260	44	624	186,119	298
昭和62年度	17	452	204,621	453	26	177	67,769	383	43	629	272,390	433
昭和63年度	18	436	143,992	330	25	170	76,406	449	43	606	220,398	364
平成元年度	18	493	192,916	391	25	191	71,004	372	43	684	263,920	386
平成2年度	16	458	182,813	399	27	205	115,017	561	43	663	297,830	449
平成3年度	16	435	182,231	419	26	172	58,675	341	42	607	240,906	397
平成4年度	15	506	137,320	271	31	223	65,103	292	46	729	202,423	278
平成5年度	22	690	153,677	223	104	669	162,734	243	126	1,359	316,411	233
平成6年度	19	565	198,610	352	119	789	193,628	245	138	1,354	392,238	290
平成7年度	18	553	218,537	395	138	887	221,809	250	156	1,440	440,346	306
平成8年度	17	452	210,043	465	92	622	164,596	265	109	1,074	374,639	349
平成9年度	13	363	68,225	188	130	801	189,534	237	143	1,164	257,759	221
平成10年度	16	570	103,579	182	137	889	172,409	194	153	1,459	275,988	189
平成11年度	14	479	163,538	341	158	982	213,522	217	172	1,461	377,060	258
平成12年度	16	525	143,028	272	153	969	253,794	262	169	1,494	396,822	266
平成13年度	13	432	96,938	224	151	965	218,165	226	164	1,397	315,103	226
平成14年度	15	472	120,577	255	144	893	171,247	192	159	1,365	291,824	214
平成15年度	14	481	116,014	241	172	1,059	208,160	197	186	1,540	324,174	211
平成16年度	13	420	65,729	156	174	1,111	209,413	188	187	1,531	275,142	180
平成17年度	12	434	95,550	220	172	1,041	187,883	180	184	1,475	283,433	192
平成18年度	21	385	73,945	192	165	995	189,301	190	186	1,380	263,246	191
平成19年度	21	371	162,652	438	180	1,121	206,943	185	201	1,492	369,595	248
平成20年度	30	663	226,126	341	175	1,093	209,314	192	205	1,756	435,440	248
平成21年度	22	736	98,212	133	174	1,111	260,714	235	196	1,847	358,926	194
平成22年度	22	632	101,051	160	166	1,033	215,981	209	188	1,665	317,032	190
平成23年度	21	523	190,445	364	176	1,036	234,440	226	197	1,559	424,885	273
平成24年度	19	612	101,980	167	170	1,109	316,742	286	189	1,721	418,722	243
累 計	639	17,573	5,349,365	304	3,472	22,072	5,294,737	240	4,111	39,645	10,644,102	268

□貸会場事業報告及び観覧者状況(本館)

展覧会名	期日	日数	主催者	内 容	入場者数	観覧料
藤城清治の世界展 光と影のファンタジー	4/1～5/13 (会期は3/30から)	38	株式会社 テレビ熊本	光と影で幻想的な世界を生み出す「影絵」の第一人者、藤城清治氏の初期から最新までの代表作を150点以上展示	34,740	一般1,200円(1,000円) 高・大生800円(600円) 小・中学生500円(300円) ()内は前売料金及び 20名以上の団体料金
第34回 熊本県日本画協会展	5/15～5/20	6	熊本県日本画協会	日本画・水墨画 約200点の展示	1,771	大人300円 大学・高校生200円 小中学生 無料 団体(20名以上)200円
第40回記念 熊本県美術家連盟展	6/5～6/10	6	熊本県美術家連盟	会員の日本画・洋画・彫刻・工芸・デザイン作品の展示	1,798	
九州産業大学芸術学部 学生作品展	6/12～6/17	6	九州産業大学芸術学部	洋画・日本画・彫刻・工芸・デザイン・写真作品の展示	262	
第31回 熊日新鋭・学童書道展	6/19～6/24	6	株式会社 熊本日日新聞社	入賞作品の展示	1,429	
第67回 県美展	9/11～9/17	7	熊本県美術協会	会員・会友及び公募作品の展示	3,540	一般500円
第40回 熊本県書道連盟展	9/25～9/30	6	熊本県書道連盟	熊本県書道連盟会員の作品展示	612	
第39回 学生学童書道展	10/10～10/14	5	国際文化交流会	小学生から高校生までの書道作品の展示	1,339	
熊本県立第二高等学校創立50周年記念「美術展」	10/16～10/21	6	熊本県立第二高等学校同窓会	卒業生・在校生の絵画、日本画、デザイン、彫刻、映像作品の展示	1,655	
熊本県立大津高等学校創立90周年記念事業 第65回記念 陽美展	10/23～10/28	6	熊本県立大津高等学校	在校生100点、卒業生30点の油彩、水彩、版画、デザイン、立体、工芸、写真作品等の展示。 坂本善三作「連帯」の展示。	1,120	
第25回 上野の森美術館 日本の自然を描く展(九州展)	10/30～11/4	6	公益財団法人 日本美術協会 上野の森美術館	受賞作品と九州沖縄地区在住出品者の入選作品の展示	960	
第48回 熊本県高等学校書道展	11/6～11/11	6	熊本県高等学校文化連盟書道部	県内高校生の漢字・仮名・漢字仮名交じり等の作品約250点。書道担当者の作品約50点の展示	870	
第37回 熊本県高等学校美術展	11/27～12/2	6	熊本県高等学校文化連盟美術部	県内高等学校美術部の絵画・デザイン・彫刻・立体・工芸作品の展示	1,233	
崇城大学芸術学部卒業・修了制作展	2/19～2/24	6	崇城大学	平面絵画、立体、デザイン作品、映像、インスタレーション等の展示	1,142	
吉正本 螺鈿工芸作品展	3/2～3/24	20	吉 正本	螺鈿工芸品130点の展示	3,500	
北斎展	3/30～3/31 (会期は5/19まで)	2	株式会社 テレビ熊本	葛飾北斎の貴重な肉筆画から代表作「富嶽三十六景」をはじめ、役者絵、妖怪絵を展示。また、北馬、北明、五清など弟子たちの作品も展示	696	一般1,000円(800円) 高・大生800円(640円) 小・中学生500円(400円) ()内は前売料金及び 20名以上の団体料金
小計		138			56,667	

分館(展示室1・2・3)

□ 貸会場事業報告及び観覧者状況

展覧会名	期日	日数	主催者	内容	入場者数	観覧料
千艸会 心豊に趣味の水墨画展	4/3～4/8	6	千艸会	水墨画	1,118	
「曹亜鋼水墨芸術学院」熊本教室作品展	4/3～4/8	6	曹亜鋼水墨芸術学院熊本教室	中国水墨画作品	907	
第10回江原写友会展	4/3～4/8	6	江原写友会	熊本高等学校OB約30人が3点の出品約90点を展示 写真全紙 半切	958	
第52回白鷗書道展	4/10～4/15	6	白鷗書道会	第1室 役員約30名による作品展示 第2室 臨書作品展示 第3室 全会員の作品(帖、卷子、額、パネル、軸もの等)展示	2,522	
雅押花の会会員作品展「第13回火の国押花フェスタ」	4/17～4/22	6	雅押花の会	押花額絵	1,369	
第21回日専連全国・くまもと児童版画コンクール	4/17～4/30	13	協同組合日専連熊本青年会	県下小学生の版画約250点(一部全国入賞小学生分有)	697	
アート雅会員作品展「花と光のフェスタ」	4/17～4/22	6	アート雅	・ガラスアート作品 ・レカンフラワー作品・ネイチャープリント作品・ファッション転写作品	1,216	
日洋会熊本支部展	4/24～4/30	7	日洋会熊本支部	洋画(油絵、水彩)F80号～100号 約40点展示	1,134	
第25回紅華会書作展	4/24～4/30	7	書道紅華会	かな書道作品(軸・額・パネル・屏風・卷子本・帖)	611	
パンゲア。展Vol. 12	5/2～5/6	5	パンゲア。展	絵画・洋画・日本画・イラストレーション・彫塑・陶芸等約50点	702	
風のいろKUMAMOTOKINAWA VOL.3	5/2～5/6	5	風のいろKUMAMOTOKINAWA	絵画、染色、インスタレーション、立体など「熊本と沖縄をつなげる」をコンセプトに熊本・沖縄で活動する作家グループ展	551	
第2回再興南枝塾展	5/2～5/6	5	南枝塾	日本画約60点 F10号から変形130号まで	903	
ニコールクラブ熊本支部写真展	5/8～5/13	6	ニコールクラブ熊本支部	写真 支部会員100点 ニコールフォトコンテスト作品約250点 総数約350点の展示	769	
写真二人展 松倉卓志 松倉祐美子	5/8～5/13	6	松倉 祐美子	写真を通して知り合った夫婦が開催する写真二人展	650	
島田樟蔭生誕100年記念書作品展	5/8～5/13	6	島田三郎	軸10、額15、扁額5、木彫額5、屏風1、巻物1、ユニフォーム2、その他10	394	
第65回示現会巡回熊本展	5/15～5/20	6	一般社団法人 示現会熊本支部	H24年4月に開催される第65回示現会展より秀作約60点を巡回展示するもので、合わせて熊本県内出品者の作品約30点を同時展示する。 作品内容は油絵、水彩、版画	5,058	一般 600円 大学生 400円 高校生以下無料
地球の上に生きる。九州コンテンポラリーアート2012	5/22～5/27	6	九州コンテンポラリーアート2012	平面、立体、映像、インスタレーションなど	5,675	
ビビビの天鴻グループ書展	5/29～6/3	6	路漫々書遊会	書作品	1,371	
尚綱短期大学同窓会花桜会60周年記念花さくら会作品展	5/29～6/3	6	尚綱短期大学同窓会花桜会	刺し子、木目込み人形、刺しゅう、組紐、ステンドグラス、パッチワーク、バーチメントクラフト、油絵、水墨画、書、押し花絵、型絵染、染め布の花、ポリマークレイ	802	
日本画工房浮島館	5/29～6/3	6	日本画工房浮島館	日本画工房浮島館で日本画を学ぶ30名の生徒(10代～80代)の作品展示	1,263	
第2回KyuusuuArtist Group 展 ～九州産業大学芸術学部同窓会展～	6/5～6/10	6	富田耕平	絵画、版画、インスタレーション等約48点	757	
2012ART SCHOOL あとりえバリュー展	6/5～6/10	6	アートスクールあとりえバリュー	水彩、パステル、コラージュ等で題材は花、静物、動物、人物、風景	998	
第11回熊日水墨画教室合同作品展	6/5～6/10	6	熊日水墨画教室合同展世話人会	水墨画教室の受講生の作品展	1,161	
C・A・F・N・KUMAMOTO	6/12～6/17	6	C・A・F・NEBULA実行委員会	2m前後の平面作品30点 立体作品約10点	1,140	
古市明美個展	6/12～6/17	6	古市明美	油彩画F80 18点 F50～30 5点 F20以下5点 画集2冊	837	
2012熊日デザイン賞展	6/12～6/17	6	熊本日新聞社事業局	入賞作品の展示	732	
第29回熊日女性絵画展入賞・入選作品展	6/19～6/24	6	熊本日新聞社事業局	F50号及びS40号以内の洋画・日本画・版画の3部門で高校生以上の女性を対象とした絵画の公募展。約80点を展示	2,764	
第24回熊本の建築家作品展	6/19～6/24	6	(社)日本建築家協会九州支部熊本会	熊本の建築家の作品を図面、写真等を使ったパネル及び模型で展示	578	
第27回維熊篆会「書法篆刻展」	6/26～7/1	6	維熊篆会	篆刻作品 篆書、隸書作品	660	
一般社団法人二科会写真部熊本支部写真展	6/26～7/1	6	一般社団法人二科会写真部熊本支部	全紙にプリントした写真パネル約60点を展示	1,447	
熊本独立作家展	6/26～7/1	6	熊本独立作家	平面絵画約25点(サイズF100号～F130号)	1,075	
第5回日中友好水墨画展	7/3～7/8	6	九州華芸林書画芸術会・日中友好協会	東洋の絵画表現である水墨画の展示。日中画家合同作品展で出品総数100点以上	910	
第17回大野郁子絵画教室展	7/3～7/8	6	大野郁子絵画教室	絵画教室の生徒作品と講師作品 油彩・水彩・パステル・イラストレーション・立体作品など約100点	528	
アートコンサート『遊園地球』	7/3～7/8	6	武富弘好	アクリル画、オブジェ、雑貨(アート作品)の展示	464	
第75回銀光展	7/10～7/16	7	銀光会	油彩画、水彩画展示	9,280	一般 300円 大学生 200円 高校生以下無料
第23回選抜茶掛け展	7/18～7/22	5	国際文化交流会	掛軸を中心とした書道展	576	
米田瑞泉水墨画・絵手紙教室作品展	7/18～7/22	5	米田瑞泉水墨画・絵手紙教室展	四半切額(絵手紙)約30点 F10額、F15額 合計12点 全紙2、3点 半切軸10点 その他10点 ハガキ額数点	651	
清和糸幅展 清和七夕展	7/18～7/22	5	清和書道会	半切一条幅50本(有志) 半紙一500点(入賞以上)	621	
第12回臨川水墨画協会展	7/24～7/29	6	臨川水墨画協会	臨川水墨画協会の学習発表の場として作品を展示	1,409	
第3回墨彩画無窮会展	7/24～7/29	6	酒井洋一	水墨画、墨彩画にて花鳥、山水画を掛軸や額装にて50～60点を展示	1,178	
二紀熊本支部展	7/24～7/29	6	二紀 熊本支部展	油彩画100号大約30作品展示	1,249	
第37回城心会書展	7/31～8/5	6	城心書道会	漢字(楷・行・草・隸)を主に漢字仮名交じり文、篆刻などを大作から半切を中心に小品まで約60名の会員で90点くらいを展示	482	
第17回キャンフォトクラブ熊本写真展	7/31～8/5	6	キャンフォトクラブ熊本	写真半切額装75点 全紙額装10点 全倍10点の展示	742	
第24回汲古会書作展	7/31～8/5	6	汲古書道会	仮名作品を中心にして古筆の臨書、読みやすい調和体作品など計50点展示	558	
第16回書範選抜書道展	8/7～8/12	6	広深書道会	広深書道会発刊の月刊書道誌「書範」の会員の中から選抜された約100名の書作品(漢字・かな・調和体・てん刻)の展示	700	
第3回回想展	8/7～8/12	6	グループ想楽	油彩、水彩、日本画、アクリル等多様な素材を用い表現を模索するメンバーによるグループ展 表現方法は写真から心象、抽象まで幅広い	636	
第28回書道溪風会会員展	8/7～8/12	6	書道 溪風会	書道溪風会に所属する会員の展覧会 かな作品または調和体作品を軸、額、枠装にして展示	633	
第40回硯心展	8/14～8/19	6	硯心会	熊本大学書道部硯友会の卒業生で組織する硯心会会員約60名が漢字、仮名、少字数、漢字仮名まじり文など各1点出品	763	
にんじん絵画グループ展	8/14～8/19	6	にんじん絵画クラブ	油絵 静物、風景他100号～小品まで展示	681	
第28回熊本平和美術展	8/14～8/19	6	熊本平和美術展実行委員会	絵画・書・写真・工芸・押し花・手芸など約100点	1,081	
第24回熊本県シルバー作品展	8/21～8/26	6	財団法人 熊本さわやか長寿財団	展示室1・写真 展示室2・書 展示室3・日本画 洋画 彫刻 工芸	5,155	
第41回九州新象展	8/28～9/2	6	九州新象作家協会	新象展出品作家(九州・全国招待作家)の平面、立体の作品を70点展示	760	
彫塑グループ'88展	8/28～9/2	6	彫塑グループ '88会	人体などの具象彫刻や抽象彫刻などFRP、木などを素材とした彫刻の展示	494	
第32回 兼城昌山とそのグループ展(書)	8/28～9/2	6	昌山会	兼城昌山が指導する会員40人余の書道作品約50点を展示	583	
第34回熊本県書道展	9/4～9/9	6	熊本書法文化振興会	書道の研究者・愛好者間の融和をはかり、熊本書壇の水準向上と底辺の拡大を目的とした書道展 約400点展示	2,776	
第67回熊本県美術協会展(県美展)	9/11～9/17	7	熊本県美術協会	日本画 洋画 版画 彫刻 工芸 デザイン	8,818	一般・大学生 500円 高校生 200円 中学生以下無料
第78回東光会巡回展	9/19～9/23	5	東光会熊本支部	東光会会員・会友の油彩、水彩、版画と一般公募作品を合わせ150余点の展示 第5回全国小品部門コンクール選抜作品の内熊本県出品者20余点の展示	10,093	一般 500円 大高生 300円 中学生以下無料
ジュディ・オング倩玉 木版画の世界展	9/27～11/4	34	㈱テレビ熊本	「ジュディ・オング倩玉」の雅号で初期から最新の日展出品作までの木版画約60点に加え下絵や版木などを展示	64,039	一般 1000円 高・大学生 800円 小・中学生 500円
計		380			156,679	

分館(展示室1・2・3)

□ 貸会場事業報告及び観覧者状況

展覧会名	期日	日数	主催者	内 容	入場者数	観覧料
第48回熊本県水彩画会展	11/6 ~ 11/11	6	熊本県水彩画会	一般公募作品約100点 会員・会友の作品約115点 合計約215点を展示	9,009	一般 300円 大高生 200円 中学生以下無料
第55回記念 アマチュア絵画展	11/13 ~ 11/18	6	熊本県アマチュア絵画連盟	油彩 水彩 版画 水墨画 300点	1,286	
第54回書道愛好者展	11/13 ~ 11/18	6	日本の書道会	書道作品の展示	510	
第53回熊日写真展	11/13 ~ 11/18	6	熊本日日新聞社事業局	県内の写真文化の振興と技術向上を目的に毎年開催。熊日賞の部、新人の部の入選作品以上109点と招待作家作品を展示。題材は自由で作品は全て木製板パネル仕上げ。	1,683	
「県内の障がい者芸術展」及び「NHKハート展」	11/20 ~ 11/25	6	くまもとハートウィーク実行委員会	県内の障がい者芸術展:障がい者が制作した絵画、書、陶芸、工芸等の作品に日々の活動や作品に込めた思いを記したコメントを添えて展示 NHKハート展:全国の障がい者がつづつた詩に、各界の著名人がハートをモチーフに描いた絵などを添えた作品の展示	2,174	
岩上泰子パッチワークキルト教室作品展	11/20 ~ 11/25	6	岩上泰子パッチワークキルト教室	パッチワークキルト作品展	820	
第12回熊本県水墨画協会展	11/27 ~ 12/2	6	熊本県水墨画協会	墨を主体とした水墨画で会員及び県内の指導者が集成したもの 額装のみ(F6~F20以下)	2,698	
第11回春風書作展	11/27 ~ 12/2	6	春風書作会	書道作品の展示 現代詩文書-創作 漢字・仮名-臨書と創作	487	
第35回尚綱大学書道展	12/4 ~ 12/9	6	尚綱大学	本学書道コース在学生約60名及び卒業生、教職員の書作品の展示。また、尚綱大学主宰の高校生書道展の優秀作品も展示。総数約100点	2,143	
第14回済美展	12/11 ~ 12/16	6	済美展	済々廣卒業の絵画制作者と写真家並びに書道家等の作品及び在校生の作品と美術教師の作品を展示	791	
第5回韓々坂絵画教室作品展	12/11 ~ 12/16	6	韓々坂絵画教室	デッサン、水彩、油彩等80号~0号にいたる約80点を展示	796	
コスモス展	12/11 ~ 12/16	6	コスモス	油彩 4号~100号 約60点 静物 人物 心象 風景など	842	
第53回熊日書道展	12/18 ~ 12/24	7	熊本日日新聞社事業局	審査後入賞、入選作品約200点と委嘱、無鑑査作家70点の合計270点の作品を展示	4,350	
第15回玄泉全国書道展	1/8 ~ 1/14	7	玄泉書道会	日展会友・入選作家、玄泉成家・師範他の作品を展示 2×8尺(額)、2.6×6尺(額)、半切(軸)、小作品(軸)	2,153	
第66回熊日学童スケッチ展	1/8 ~ 1/14	7	熊本日日新聞社事業局	小中学生の絵画 上位369点展示	1,319	
第31回美術文化熊本支部展	1/16 ~ 1/20	5	美術文化熊本支部	本展(東京都美術館)出品作品を主に展示(油絵約40点)	1,004	
第65回創元会熊本支部展	1/16 ~ 1/20	5	(社)創元会熊本支部	F80号~F100号 30点 小品20点 油彩画	874	
第38回武蔵野美術大学校友会熊本支部展	1/16 ~ 1/20	5	武蔵野美術大学校友会熊本支部	洋画、日本画、工芸、建築等	833	
第10回くまもと子どもの美術展	1/22 ~ 2/3	12	熊本県図工・美術教育研究会	熊本県内の小中学生の代表作品(絵画、版画、デザイン)1400点以上を展示	4,749	
社団法人二科会熊本支部絵画展	1/22 ~ 1/27	6	社団法人二科会熊本支部	第94回 第96回二科展に出品し受賞及び入選し国立新美術館に展示された絵画の大作80号以上を中心に展示	1,442	
第12回フォト千葉城写真展	1/22 ~ 1/27	6	フォト千葉城	全紙サイズ60点 自然風景、街角スナップ、スポーツなど	1,517	
「四季麗景」上杉満生写真展	1/29 ~ 2/3	6	日本風景写真協会熊本支部	光と色彩が奏で響きあう日本の四季を撮影した作品47点	1,069	
第35回記念水彩連盟熊本支部展	1/29 ~ 2/3	6	水彩連盟熊本支部	水彩連盟熊本支部会員30名がF50~F130の水彩画作品約50点を展示 水を媒介とした自由で多様性のある作品を発表する	1,418	
独立書人団熊本書展	2/5 ~ 2/11	7	独立書人団熊本	書作品(漢字・仮名・現代文・少字数書等々)約80点を展示 出品者数約30名	1,033	
第6回くまろう美術展	2/5 ~ 2/11	7	熊本県立熊本聾学校	本校在籍の幼児児童生徒による作品展 絵画、版画、デザイン、工作、彫刻等の図工・美術作品に加え、高等部専攻科による木工製品、ウィッグ、陶芸など幅広い制作物を展示	711	
第5回卒園記念展幼児画展	2/5 ~ 2/11	7	熊本創美	幼児画の展示	940	
第32回尚綱大学卒業書作展	2/13 ~ 2/17	5	尚綱大学	本学書道コース在学生、4年生約10名と教職員約10名の書作品展示 漢字(各書体)及び漢字仮名交じりなどの約30作品展示	622	
第22回書き初め席書展	2/13 ~ 2/17	5	国際文化交流会	学生学童書道展の金賞以上受賞者を対象にした書初め会の作品	261	
フォトたばっさか写真展	2/13 ~ 2/17	5	フォトたばっさか	会員13名と準会員25名による写真の展示	734	
第18回熊本デザイン専門学校卒業制作展	2/19 ~ 2/24	6	熊本デザイン専門学校	卒業制作の展示発表 平面・立体・映像約200点の展示	1,438	
第19回日本高校生デザイングランプリ作品展	2/19 ~ 2/24	6	熊本デザイン専門学校	高校生デザイングランプリ上位入賞及び入選・佳作等の作品展示発表 平面・立体・映像等約200点の展示	593	
熊本大学教育学部美術科 卒業・修了制作作品展	2/26 ~ 3/3	6	熊本大学教育学部	油彩画などの絵画(約15点)、人物をモチーフとした彫刻(約10点)、木工芸(約6点)その他にも、美術教育論や美術理論に関する研究論文をパネルなどを用いて掲示	767	
熊本大学教育学部美術科 在科生展	2/26 ~ 3/3	6	熊本大学教育学部	絵画 彫刻 工芸	730	
第25回朱土会日本画展	2/26 ~ 3/3	6	朱土会	日本画 10号~100号 年1回開催 約50点展示	986	
玉高同窓美術展	3/5 ~ 3/10	6	玉高同窓美術展	玉名高校同窓生による作品展 絵画、デザイン、工芸、立体、写真など5回目の開催 作品数約50点	821	
第21回玉名美術協会展	3/5 ~ 3/10	6	玉名美術協会	油絵 水彩画 日本画 ペン画 工芸	764	
第25回熊工会美術展	3/5 ~ 3/10	6	熊工会美術展	絵画、水墨画、書、彫刻、写真、デザイン	1,025	
第26回国際文化交流会選抜臨書展	3/12 ~ 3/17	6	国際文化交流会	日本や中国の書道史に残る古典を模写したもの 額装、軸層、卷子その他	458	
金洋会展	3/12 ~ 3/17	6	NHK文化センター基礎からの油絵	油絵 出品者17名で4号~100号 約50点展示	654	
しらぬひ刺し子生徒作品展	3/12 ~ 3/17	6	しらぬひ刺し子会	きもの・帯・タペストリー・ふろしき等の展示	1,246	
第33回熊本大美術科同窓会展	3/19 ~ 3/24	6	熊本大教育学部美術科同窓会	熊本大美術科同窓会が主催する美術展 洋画、日本画、デザイン、写真、彫刻等で約50点展示	558	
詩人Stan作品展 2013	3/19 ~ 3/24	6	林賢太郎	書詩	229	
清和小型条幅書初展	3/19 ~ 3/24	6	清和書道会	半切1/4作品 幼児から一般までの入賞・入選作品の展示 作品600点	604	
第16回遊美塾写真展	3/26 ~ 3/31	6	遊美塾	写真展	653	
示現会5人展	3/26 ~ 3/31	6	荒川弘子	油絵 8号~100号 約30点	769	
戸塚しゅう熊本支部 藤本教室作品展	3/26 ~ 3/31	6	戸塚しゅう熊本支部	洋風、和風のしゅう作品 テーブルクロス・センター ピアノかけ 額 タンス 屏風 風呂先屏風 のれん 手さげ他	640	
計		282			61,203	
合計		662			217,882	

分館(ギャラリー)

貸会場事業報告及び観覧者状況

展覧会名	期日	日数	主催者	内容	入場者数	観覧料
水墨画三人展	4/3～4/8	6	森本 寿子	水墨画三人出品 白石昭東 吉井まき子 森本寿子	1,533	
井島秀夫個展～風景・心象	4/10～4/15	6	井島 秀夫	油彩およびアクリルによる風景と心象100号～小品30～40点。 天草など「五足の靴」にちなんだ作品も展示	744	
アポア会展	4/17～4/22	6	熊本県薬剤師会美術同好会	油彩・水彩	710	
寺本銀子米寿 心の写経	4/24～4/30	7	寺本 銀子	法華経全巻巻物 観音経軸巻物 阿弥陀経巻物 正信念佛偈巻物 般若心経軸 般若心経額 般若心経紺紙金丈額 その他	621	
松村亘ペン画展	5/2～5/6	5	松村 亘	ペン画	1,015	
第34回虹の会版画展	5/8～5/13	6	虹の会	虹の会会員20名による新作版画の展示及び交流団体(大分県竹田市)きつつきの会の版画作品の展示	1,041	
熊本デジカメ倶楽部写真作品展	5/15～5/20	6	熊本デジカメ倶楽部	熊本デジカメ倶楽部会員が県内外の風景や祭り、ポートレート等いろいろなジャンルの写真を展示	1,009	
地球の上に生きる 九州コンテンポラリーアート2012	5/22～5/27	6	九州コンテンポラリーアート2012	平面、立体、映像、インスタレーションなど	展示室に合算	
第8回石交会墨のアート展	5/29～6/3	6	石交会	小字隷書30 調和体10 漢字5 篆刻4 仮名3 集合作品1	1,187	
春山千艸水墨画展「詩を描く」	6/5～6/10	6	春山 千章	歌謡曲、民謡等の詩に合わせた女性の表情を水墨画で表現 パネル、軸、額など約30点	1,239	
山 弘孝写真展 神宿る山と溪	6/12～6/17	6	山 弘孝	世界の山23枚 日本の山9枚 九州の山10枚 溪8枚	1,053	
写団あけぼの会 第38回写真展「野の花」と「風景」	6/19～6/24	6	写団あけぼの会	野山に自生する「野の花」の接写を四ツ切額入りにて約30点展示、「風景」写真を全紙額入りにて約20点展示	1,173	
写真研究会無名塾 写真研究会フォト光影合同展	6/26～7/1	6	写真研究会無名塾	全紙版、半折版の写真30点 風景スナップのカラー及びモノクロ	1,680	
寒梅人絵画新作展	7/3～7/8	6	寒梅人	水墨画の展示	1,087	
第75回 銀光展	7/10～7/16	7	銀光会	油彩画、水彩画展示	展示室に合算	一般300円 大学生200円 高校生以下無料
3人展	7/18～7/22	5	桑田 絹子	写真	536	
第24回日本水彩画会熊本支部展	7/24～7/29	6	日本水彩画会熊本支部	水彩画20号～80号の作品約30点展示	1,499	
第10回淵田油絵教室展	7/31～8/5	6	淵田油絵教室	油絵	649	
第42回同光会書展	8/7～8/12	6	同光会	書作品約30点展示。漢字仮名などの作品を額、パネル、軸などに表装して展示	499	
GROUP-愚-作品展	8/14～8/19	6	GROUP-愚-	書作品20点程度展示	664	
熊日生涯学習 日本画教室展	8/21～8/26	6	熊日生涯学習プラザ	日本画(風景・静物・人物等)額装 サイズ1号～100号を約50点展示	1,366	
第35回いちろうの会絵画展	8/28～9/2	6	いちろうの会	会員(19名)の油彩、水彩等小品から100号までの40点弱の展示	910	
第34回熊本県書道展	9/4～9/9	6	熊本書法文化振興会	書道の研究者・愛好者間の融和をはかり、熊本書壇の水準向上と底辺の拡大を目的とした書道展。約400点展示	展示室に合算	
第67回 熊本県美術協会展(県美展)	9/11～9/17	7	熊本県美術協会	日本画、洋画、版画、彫刻、工芸、デザイン	展示室に合算	一般・大学生500円 高校生 200円 中学生以下、障がい者 無料
第78回東光会巡回展	9/19～9/23	5	東光会熊本支部	東光会会員・会友の油彩、水彩、版画と一般公募作品を合わせ150余点の展示 第5回全国小品部門コンクール選抜作品の内熊本県出品者20余点の展示	展示室に合算	一般 500円 大高生 300円 中学生以下、障がい者 無料
九州脊梁山地の情景 フォトサークル脊梁	9/25～9/30	6	土嶋 俊行	冬の霧氷、氷の世界、春のミツバツツジ・ヤマシャクヤク、新緑のブナ、秋の紅葉と四季の自然のすばらしさを半切・全紙で展示	1,047	
第23回漣会日本画展	10/2～10/8	7	日本画漣会	相嶋崇人先生に学ぶ塾生による作品展	1,146	
熊本県クラフト展	10/10～10/14	5	熊本県クラフト実行委員会	熊本県文化懇話会クラフト部門会員(現26分野30名)による年1回の創作展 県芸術祭参加事業	1,401	
第3回パソコン・アート作品展	10/16～10/21	6	熊本パソコン・アート倶楽部	家庭用のパソコンを使った手法で水彩画や淡彩画を作成 熊本の名所旧跡や季節をテーマに作成した作品を展示	813	
朱杏墨之会 朱杏先生内閣総理大臣賞受賞記念展	10/23～10/28	6	水墨画朱杏墨の会	額絵 F50号～8号	1,871	
第5回輪の会作品展	10/30～11/4	6	輪の会	油彩 水彩 版画 水墨画 25点	1,982	
第48回熊本県水彩画会展	11/6～11/11	6	熊本県水彩画会	熊本県水彩画会展に応募された入選作品100点、並びに熊本県水彩画会の会員・会友の作品115点 合計215点を展示	展示室に合算	
アートクラブG&V展	11/13～11/18	6	アートクラブG&V(RKK学苑)	油彩・水彩・デッサン画	860	
『感動の自然美』淋 治芳写真展	11/20～11/25	6	淋 治芳	全倍サイズパネル額2点 全紙サイズ30～35点	913	
シェーンブルン絵画教室展	11/27～12/2	6	木村満知子	透明水彩画40点	966	
'12グループ香書作展	12/4～12/9	6	グループ香	額・軸・パネル・屏風・帖・巻等 仮名を中心に調和体等で表現	701	
第九回篁風会書道展	12/11～12/16	6	篁風会	楷・行・草・隸・篆・調和体等で額装・パネル・掛軸の形式で40点の展示	434	
第3回彩美道場展(油彩)	12/18～12/24	7	彩美道場	100号以内の油彩の作品 モチーフは人物、静物、風景	860	
第15回玄泉全国書道展	1/8～1/14	7	玄泉書道会	日展会友・入選作家、玄泉成家・師範他の作品を展示。 2×8尺(額)、2.6×6尺(額)、半切(軸)、小作品(軸)	展示室に合算	
和紙のあかり 灯華～ひかりの質感～	1/16～1/20	5	赤瀬 重夫	和紙素材を使ったランプシェードの作品展示 和紙工芸30点	695	
東光会会員4人展	1/22～1/27	6	東光会会員 尾崎史典	具象絵画の油絵で人物、風景、静物等100号12枚、30号8枚の合計20点	1,886	
第41回「へちま」俳画展	1/29～2/3	6	熊本市中央公民館俳画教室「へちま」	色紙額65点余 渋団扇40本余	911	
荒木 宣男展	2/5～2/11	7	荒木 宣男	平面作品(アクリル画)15点 石膏プラス木材による立体作品15点 映像作品の展示	750	
第10回熊本市立必由館高等学校芸術コース卒業制作展	2/13～2/17	5	熊本市立必由館高等学校	平成24年度芸術コース書道系生徒11名の作品及び教師の作品合計約50点を展示 作品は漢字、仮名、漢字仮名交じりの書など各分野の書	614	
「タバサを描く」展	2/19～2/24	6	「タバサを描く」展実行委員会	モデルタバサを水彩、油彩で描いた40点を展示	858	
グループ茜展	2/26～3/3	6	グループ茜	約20名の会員の純具象の油彩画約60点(F50号以下)の展示 講師の賛助作品1点も展示	920	
山々の花の写真展	3/5～3/10	6	執行 誠一郎	一期一会の山の花の姿を絵心、詩心で撮影した写真の展示	557	
しらぬひ刺し子生徒作品展	3/12～3/17	6	しらぬひ刺し子会	きもの・帯・タペストリー・ふろしき等の展示	615	
第31回RKK学苑日本画教室作品展	3/19～3/24	6	RKK学苑日本画教室	教室の受講者12人の1年間の作品発表 1人3点の日本画と講師(渡邊剛男先生)賛助作品も合わせて展示	796	
藤山深諦彫刻展 昨日、今日	3/26～3/31	6	藤山 深諦	木彫刻・FRP約20～30点 大きさ(高さ)30cm～200cm	382	
計		301			42,193	

分館(展示室1・2・3 ギャラリー)

合計

	963		260,075
--	-----	--	---------

本館・分館 総合計

	1,109		316,742
--	-------	--	---------

■収蔵品の概要

□ 収蔵品一覧表（平成25年3月31日現在）

区 分	県 有 美 術 品									寄 託 品			合 計			
	購 入			寄 贈			小 計									
	23年度 までの 購 入	24年度 購 入	小 計	23年度 までの 寄 贈	24年度 寄 贈	小 計	23年度 までの 計	24年度 計	小 計	23年度 までの 寄 託	24年度 寄 託	小 計	23年度 までの 計	24年度 計	計	
日本 古美術	絵 画	182		182	293		293	475		475	262		262	737		737
	書 跡	198		198	176		176	374		374	156		156	530		530
	彫 刻				1		1	1		1	27	1	28	28	1	29
	工芸(陶磁)	104		104	67		67	171		171	20		20	191		191
	工芸(その他)	6		6	226		226	232		232	526		526	758		758
	考 古										9		9	9		9
	そ の 他				4		4	4		4	6		6	10		10
	計	490		490	767		767	1,257		1,257	1,006	1	1,007	2,263	1	2,264
	日本 近現代	油 彩 画	111	2	113	412	2	414	523	4	527	15		15	538	4
版 画	274	1	275	592		592	866	1	867	4		4	870	1	871	
デッサン	45		45	281		281	326		326	2		2	328		328	
彫 刻	69		69	18		18	87		87	4		4	91		91	
工 芸	105		105	112		112	217		217	1		1	218		218	
日 本 画	174	2	176	155		155	329	2	331	17		17	346	2	348	
水 彩 画	16		16	105		105	121		121	4		4	125		125	
そ の 他		2	2	91	1	92	91	3	94				91	3	94	
計	794	7	801	1,766	3	1,769	2,560	10	2,570	47		47	2,607	10	2,617	
東 洋	絵 画	10		10	1		1	11		11	1		1	12		12
	書 跡	2		2	2		2	4		4				4		4
	彫 刻				1		1	1		1	1		1	2		2
	工 芸	12		12	12		12	24		24				24		24
	考 古				110		110	110		110				110		110
	計	24		24	126		126	150		150	2		2	152		152
西 洋	油 彩 画	7	1	8	3		3	10	1	11	3		3	13	1	14
	版 画	213		213	55		55	268		268				268		268
	デッサン	1	1	2	1		1	2	1	3				2	1	3
	彫 刻	8		8	1		1	9		9				9		9
	水 彩 画	4		4	4		4	8		8				8		8
	計	233	2	235	64		64	297	2	299	3		3	300	2	302
合 計	1,541	9	1,550	2,723	3	2,726	4,264	12	4,276	1,058	1	1,059	5,322	13	5,335	

□平成24年度美術品収集品目

購入作品

	作品名	作者名	種別	寸法(cm)	制作年
1	バナナのある静物	川口軌外	油彩・カンヴァス	50.5×65.3	1928(昭和3)年
2	地にうごめく	北川民次	油彩・カンヴァス	91.0×116.7	1947(昭和22)年
3	幼女浴後	恩地孝四郎	多色木版・紙	46.0×31.0	1927(昭和2)年
4	紫の上	高橋廣湖	絹本著色・屏風装	173.5×163.0	明治時代
5	木曾義仲入京図	山中神風	絹本著色・屏風装	147.0×135.0	明治時代
6	松本喜三郎興業刷物 鎮西八郎島廻生人形細工		単色木版・紙	36.4×49.3	1856(安政2)年頃か
7	安本亀八興業刷物 元祖生人形細工		単色木版・紙	35.4×47.8	1884(明治17)年頃
8	裁縫道具のある静物	藤田嗣治 (レオナール=ツグハル・フジタ)	油彩・カンヴァス	26.0×35.0	1930(昭和5)年
9	黄色の服を纏ったモデル	藤田嗣治 (レオナール=ツグハル・フジタ)	鉛筆、 パステル・紙	57.5×43.2	1931(昭和6)年

寄贈作品

	作品名	作者名	種別	寸法(cm)	制作年
1	スーヴニール	大塚耕二	油彩・板	17.7×12.7	1936(昭和11)年頃
2	道	牛島憲之	油彩・カンヴァス	37.8×45.0	1950年代末～ 60年代初頭
3	海老原喜之助 手のブロンズ	鑄造者 峯孝	ブロンズ	21.5×10.4×7.8	1970(昭和45)年

寄託作品

	作品名	作者名	種別	寸法(cm)	制作年
1	木造沢庵禅師坐像		ヒノキ材・ 寄木造り	坐高66.5	江戸時代前期 (17世紀)

□平成 24 年度美術品貸出記録（館蔵品）

作家名	作品名	貸出先	展覧会名	展覧会会期
牛島憲之	水門	犬飼記念美術館	熊本作家回顧・牛島憲之版画と油彩展	2012.6/2~6/28
	家			
	かすむ瀬戸内			
	水郷風景			
	風景			
	風景(水門)			
	風景(並木外苑)			
	朝映え			
	運河			
	伊豆の漁村			
	福浦港			
	言問青嵐			
	夏日水門			
	晩春永代橋			
	水郷初秋			
	外苑風景			
	墨東			
	富士夕照			
高野松山	乾漆堤盤	熊本県伝統工芸館	人間国宝 九州・沖縄の伝統工芸 技と美展	2012.8/3~9/2
	蒔絵蝶文香合			
	蒔絵鈴虫棗			
(高野松山 関連資料)	蒔絵技法見本手板			
乾漆石膏型				
乾漆木型(印籠)				
増村益城	乾漆盛器(日の丸)			
	乾漆梅花食籠			
	一閑独楽塗茶器			
生野祥雲齋	橙香合			
生野祥雲齋	白竹投入花籃			
堅山南風	霜月頃	福岡市美術館	近代から現代へ 日本画の巨匠たち	2012.8/21~9/23
横山大観	焚火			
松尾敏男	南風先生像			
野田英夫	年末街頭	宇城市不知火美術館	不知火の不思議 ~不知火ゆかりの芸術家たち~	2012.9/7~10/31
	都会の冬			
野田哲也	春			
	日記 1968年8月22日			
	日記 1968年9月11日			

作家名	作品名	貸出先	展覧会名	展覧会会期
三浦洋一	DOME	独立美術協会	第80回独立展	2012.10/17~ 10/29
増村益城	朱塗小皿	千葉県立美術館	増村益城展 一人間国宝 漆を極める	2012.11/17~ 12/27
	乾漆魚文盛器			
	乾漆堤盤(塗溜)			
	乾漆一閑盛器			
	髹飾盤			
	乾漆盆			
	乾漆食籠(亀甲)			
	乾漆食籠(分銅)			
	菊波一閑盆			
	乾漆輪花盆(古代朱)			
	乾漆輪花盆(本朱)			
	紙胎華形盤			
	一閑独楽塗茶入			
	紙胎華形盤(取皿付)			
	麻紐胎朱溜菓子器			
	鈴虫蒔絵茶入			
	紙胎六曲華形菓子器			
	波文紙胎青海盆			
	乾漆一閑盆			
	乾漆朱輪花盆			
	乾漆朱輪花盤			
	乾漆真塗喜久茶入			
	紙胎金彩盆			
乾漆洗朱八角茶入				
紙胎金彩葉盤				
乾漆花輪中次				
黒呂色平卓				
黒呂色香合				
紙胎真塗中次				
加藤正方・ 西山宗因両 吟	『又やみん』百韻連歌 1巻	八代市立博物館未 来の森ミュージアム	八代城主・加藤正方の 遺産展	2012.10/26~ 2012.12/2
宮崎静夫	聲 喇叭	東京・九段ギャラ リー	宮崎静夫作品展	2013.3/20~3/27

■購入図書目録 [平成24年度]

<購入図書> ※備品購入費による

書名	編・著者名	発行所	発行年
基礎資料			
改訂 肥後藩国事史料	細川家編纂所	国書刊行会	1932
日本古美術			
仏画の尊容表現	泉武夫	中央公論美術出版社	2010
日本近代美術			
海外超現実主義作品集 みずえ臨時増刊号			1937
聖戦美術 1、2 輯	陸軍美術協会	陸軍美術協会	1939-1942
第3回黒斗社海外展ポスター 美術文化 1～5号・再刊1号	美術文化協会	美術文化協会	1939.1955

<友の会から寄贈された図書>

書名	編・著者名	発行所	発行年
奈良美智全作品集 1984 - 2010 = Yoshitomo Nara : the complete work	奈良美智	美術出版社	2011
肖像画の時代	伊東大輔	名古屋大学出版会	2011
ヴィンセント・ヴァン・ゴッホ	マルク・エド・トラルポー	河出出版	1992
セザンヌ解釈	シドニー・ガイスト	スカイドア	1999
荻須高德画集	荻須高德	毎日新聞社	1972
島田章三全版画	長谷川公之	美術出版社	1986
森義利 : 合羽版	阿部説子	森義利展実行委員会	1985
土は生きている : 村山一壺作品集	村山一壺	山本悠子	1993
ジョアン・ミロとカタルーニャ	ジョアン・ミロ	平凡社	1950
小磯良平石版画集	益田祐作	ウメダアート	1983
熊本の昭和史年表	熊本日日新聞社編集局	熊本日日新聞社	1976

■委員会等名簿

□熊本県立美術館協議会委員名簿

氏名	役職名
石井 祐治	熊本県図画工作・美術教育研究会長（熊本市立本荘小学校校長）
山口 一	熊本県高等学校教育研究会美術、工芸部会理事長（県立松橋高等学校教諭）
小宮 恵子	株式会社熊本放送テレビ局テレビ編成業務部
副島 隆	株式会社お菓子の香梅代表取締役会長
小出 史	有限会社ソルト・ファーム代表取締役
宮瀬 美津子	熊本大学教育学部准教授
日吉 亜由美	熊本県PTA連合会副会長
石原 昌一	崇城大学芸術学部教授
河島 一夫	熊本県立美術館友の会世話人
松井 葵之	八代市立博物館未来の森ミュージアム館長
曾田 豊子	画家
溝口 幸治	熊本県議会文教治安常任委員会委員長

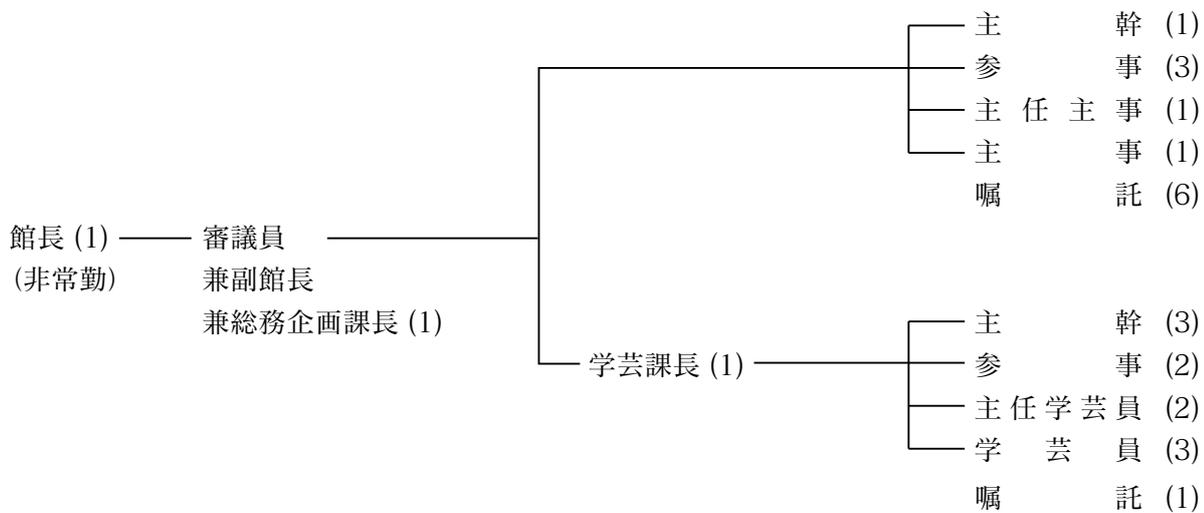
平成25年3月31日現在

□熊本県立美術館収集委員会委員名簿

氏名	役職名
島田 真祐	島田美術館長
小林 法子	福岡県文化財保護審議員
中西 真美子	崇城大学芸術学部職員
春口 光義	画家・熊本県美術家連盟会長、熊本学園大学名誉教授
後小路 雅弘	九州大学人文科学研究院教授
森山 秀子	財団法人石橋美術館学芸課長
後藤 新治	西南学院大学国際文化学部教授
浦上 雅司	福岡大学人文学部教授

平成25年3月31日現在

□熊本県立美術館の機構及び職員数（平成 25 年 3 月 31 日現在）



□美術館職員名簿（平成 25 年 3 月 31 日現在）

氏名	職名	氏名	職名
横田 堅	館長（非常勤）	井上 正敏	参事
玉岡 文博	審議員兼副館長兼総務企画課長	山田 貴司	主任学芸員
矢野 靖浩	主幹	林田 龍太	主任学芸員
竹田 親治	参事	金子 岳史	学芸員
大丸 里美	参事	才藤あずさ	学芸員
大村 理砂	参事	宮川 聖子	学芸員
福島由佳里	主任主事	吉崎 英子	嘱託
吉川 淳子	主事	寺本 知世	嘱託
中村 玲史	学芸課長	島村 佳絵	嘱託
森本 猛	主幹	若林 悦子	嘱託
有木 芳隆	主幹	大野 方子	嘱託
村上 哲	主幹	隈元 悦子	嘱託
古家 良一	参事	高森 莊子	嘱託

■その他

□熊本県立美術館友の会の活動

美術館友の会は、県立美術館の活動を援助し、美術館の充実と地域文化の向上に寄与することを目的として、昭和50年5月に発足した。

友の会は県立美術館開館以来美術関連図書などを購入し、調査研究等に貢献してきている。会員は、友の会会員証で、現在は県立美術館をはじめとする6館において開催される展覧会を各1回鑑賞することができる。また、県立美術館所蔵図書の閲覧ができるほか、機関誌「View」や友の会のお知らせを受け取ることができる。

特典

- ① 次の美術館に無料入場できる。(但し、1展覧会1回。展示替えの場合はもう1回入場できる。)
熊本県立美術館、熊本市現代美術館、坂本善三美術館、つなぎ美術館、不知火美術館
島田美術館
- ② 熊本県立美術館の展覧会図録の開催期間内購入 2割引
- ③ 熊本県立美術館の本館・分館喫茶室 割引有
- ④ 友の会企画旅行に参加できる。

会員数

A会員	59人	会費	10,000円	(会員証2枚 本人1枚、家族用1枚)
B会員	358人		5,000円	(会員証1枚 本人)
C会員	14社		30,000円以上	(会員証5枚 会社名義)

活動状況

- ・機関誌「View」4回発行(美術館との共同編集)
- ・図書購入・寄贈
『日本の甲冑』、『錦絵の彫と刷』、『ピカソ素描カタログ』、『藤田嗣治とエコール・ド・パリ』など 12冊
- ・ボランティア活動支援
- ・海外美術館巡りの旅 「オランダ美術の旅」
アムステルダム(国立美術館フィリップス館、ゴッホ美術館、アンネ・フランクハウス)、オッテルロー(クレラー・ミュラー美術館、海洋博物館)、ロッテルダム(ボイマンス美術館)、デルフト(フェルメールセンターなど)、ライデン(シーボルトハウス、国立古代史博物館など)など
期間:5月17日~24日(7泊8日間) 参加者25名
- ・国内美術館巡りの旅 「箱根・伊豆と千葉の旅」
箱根彫刻の森美術館、池田20世紀美術館、岡本太郎美術館、国立新美術館、川村記念美術館、ホキ美術館など。
期間12月12日~14日(2泊3日) 参加者22名
- ・次年度の会員拡大に向けて「熊本県立美術館友の会」案内チラシ(A4両面カラー)の作成配布

平成24年度役員

代表世話人	福田 桐 <small>ふくだ しげる</small>
副代表世話人	平井勝典、松木良介
監事	板井榮雄、瀧上 済
世話人	坂田 燦、河島一夫、河島美智奈、二子石義之、浜砂ルイ子、高田浩子、村上了一、森本清子、小坂 肇、林田 勉、池田耕一
名誉世話人	樋口欣一、芹川光行、(松岡継雄、三浦洋一)

□美術館案内

熊本県立美術館本館 Kumamoto Prefectural Museum of Art

所在地：熊本市中央区二の丸2番 〒860-0008

Tel 096-352-2111 Fax 096-326-1512

開館時間：午前9時30分～午後5時15分（入館は午後4時45分まで）

交通案内：バス／交通センターから徒歩15分

またはセンターで熊本城周遊バスに乗り換え、「熊本城二の丸駐車場」下車、徒歩3分

市電／「熊本城前」または「市役所前」下車、徒歩15分

JR／熊本駅から熊本城周遊バスで「熊本城二の丸駐車場」下車、徒歩3分

上熊本駅からタクシーで10分

熊本空港／空港バスで交通センターへ。センターから徒歩15分

または熊本城周遊バスに乗り換え、「熊本城二の丸駐車場」

下車、徒歩3分

駐車場／二の丸駐車場（有料）、三の丸駐車場（有料）

休館日：月曜日（祝日・休日の場合はその翌日）、年末年始 他

熊本県立美術館分館 Kumamoto Prefectural Museum of Art, Chibajo Branch

所在地：熊本市中央区千葉城町2-18 〒860-0001

Tel 096-351-8411 Fax 096-351-8566

開館時間：火曜～金曜／午前9時30分～午後6時30分（入館は午後6時まで）

土日祝日・休日／午前9時30分～午後5時15分（入館は午後4時45分まで）

交通案内：バス／「市役所前」下車、徒歩3分

または熊本城周遊バスで「県立美術館分館前」下車

市電／「市役所前」下車、徒歩3分

休館日：月曜日（祝日・休日の場合はその翌日）、年末年始 他

インターネットアドレス <http://www.museum.pref.kumamoto.jp>



平成24年度 熊本県立美術館年報

発行日 平成25年10月31日

発行者 熊本県立美術館

〒860-0008 熊本市中央区二の丸2番
TEL(096)352-2111 FAX(096)326-1512

印刷所 株式会社 啓文社

発行者：熊本県
所 属：熊本県立美術館
発行年度：平成25年度